

第9期群馬県高齢者保健福祉計画
の策定のための県民意識調査
《報告書》

令和5年3月

群馬県

目次

<u>I</u>	<u>調査の概要</u>	
<u>II</u>	<u>調査結果（介護保険制度等に関する県民意識調査）</u>	
1	属性	7
2	日常生活について	8
3	介護保険サービスの利用について	11
4	介護予防について	16
5	介護保険料について	18
6	地域包括支援センターについて	19
7	認知症について	20
8	在宅医療・介護について	23
9	人生最終段階の医療・ケアについて	25
10	薬局について	27
<u>III</u>	<u>調査結果（介護家族等に関する県民意識調査）</u>	
1	属性	33
2	介護保険制度について	34
3	介護や介護保険サービスの利用について	35
4	介護離職について	39
5	介護・育児の同時対応や子どもによる介護・育児について	42
6	地域包括支援センターについて	47
7	その他	49

I 調査の概要

1 調査の目的

高齢者の保健福祉、介護保険等に関する県民の皆様の意識や意見・要望などを把握し、「第9期群馬県高齢者保健福祉計画」の策定及び政策立案の基礎資料とする。

2 調査の内容

(1) 介護保険制度等に関する県民意識調査

- ①属性
- ②日常生活について
- ③介護保険サービスの利用について
- ④介護予防について
- ⑤介護保険料について
- ⑥地域包括支援センターについて
- ⑦認知症について
- ⑧在宅医療・介護について
- ⑨人生最終段階の医療・ケアについて
- ⑩薬局について
- ⑪その他

(2) 介護家族等に関する県民意識調査

- ①属性
- ②介護保険制度について
- ③介護や介護保険サービス利用について
- ④介護離職について
- ⑤介護・育児の同時対応や子どもによる介護・育児について
- ⑥地域包括支援センターについて
- ⑦その他

3 調査の設計

- (1) 対象地域 群馬県全域
- (2) 調査対象 介護保険制度等に関する県民意識調査：群馬県内在住の65歳以上の男女
介護家族等に関する県民意識調査：群馬県内在住の40歳以上65歳未満の男女
- (3) 標本数 各1,600人
- (4) 抽出方法 各市町村の人口をもとに対象者数を市町村ごとに割り当て、各市町村において住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 令和5年1月24日（火）～令和5年2月13日（月）

4 回収結果

高齢者 保健福祉 圏域	構成市町村	介護保険制度等に関する 県民意識調査				介護家族等に関する 県民意識調査			
		対象数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)	前回 回収率 (参考)	対象数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)	前回 回収率 (参考)
前橋	前橋市	200	111	55.5	58.3	200	91	45.5	40.0
高崎安中	高崎市、安中市	270	175	64.8	58.1	270	124	45.9	41.7
渋川	渋川市、榛東村 吉岡町	110	68	61.8	58.0	100	57	57.0	42.1
藤岡	藤岡市、上野村 神流町	100	61	61.0	53.3	90	37	41.1	40.0
富岡	富岡市、下仁田町 南牧村、甘楽町	110	73	66.4	50.5	100	45	45.0	47.1
吾妻	中之条町、長野原町 嬭恋村、草津町 高山村、東吾妻町	120	79	65.8	55.8	120	54	45.0	52.2
沼田	沼田市、片品村 川場村、昭和村 みなかみ町	120	81	67.5	55.2	120	53	44.2	43.8
伊勢崎	伊勢崎市、玉村町	140	86	61.4	49.3	160	64	40.0	40.0
桐生	桐生市、みどり市	130	72	55.4	50.8	120	32	26.7	44.2
太田館林	太田市、館林市 板倉町、明和町 千代田町、大泉町 邑楽町	300	173	57.7	52.5	320	122	38.1	39.7
	不明	-	11	-	-	-	5	-	-
	合計	1,600	990	61.9	56.2	1,600	684	42.8	42.3

5 報告書の見方

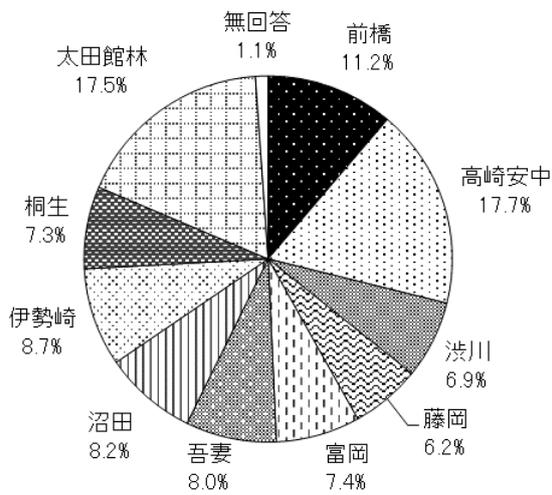
- (1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。
したがって単数回答の設問については、すべての選択肢の合計が100.0%に満たない、又は上回る場合がある。
- (2) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) グラフに表記されている「n=*」(*は数字)は、集計対象の母数を表している。

Ⅱ 調査結果（介護保険制度等に関する県民意識調査）

1 属性

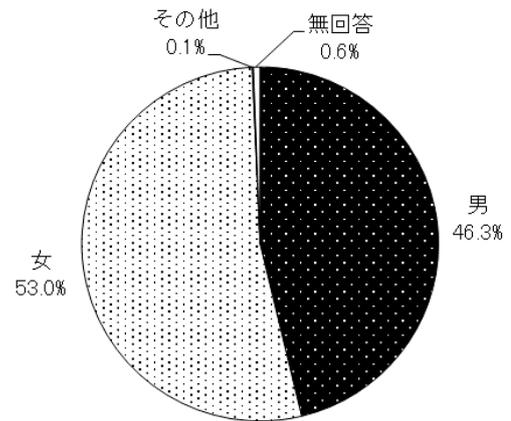
(1) お住まいの保健福祉圏域

n=990



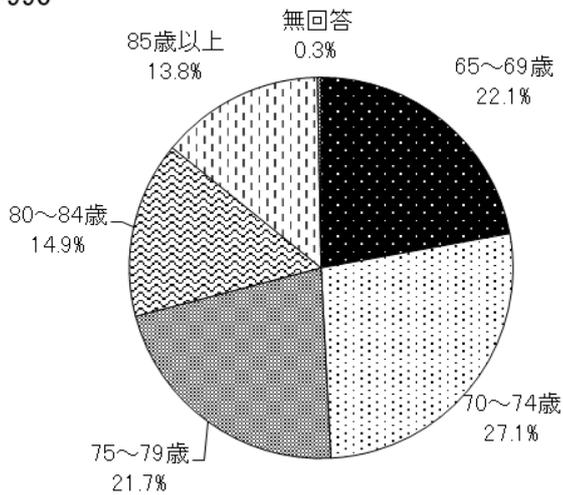
(2) 性別

n=990



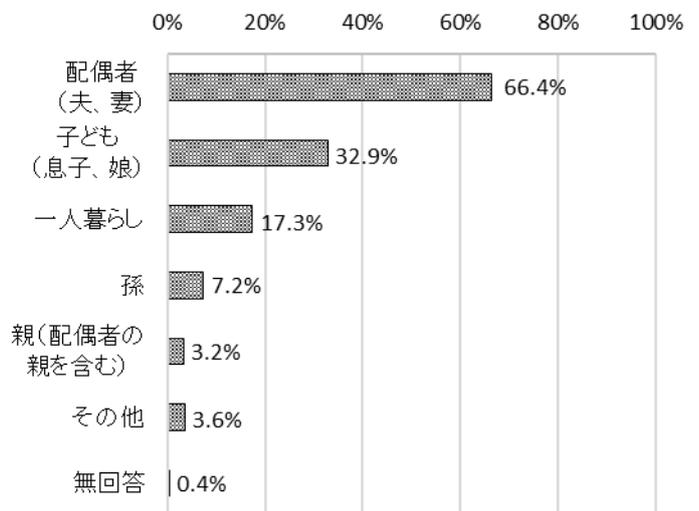
(3) 年齢

n=990



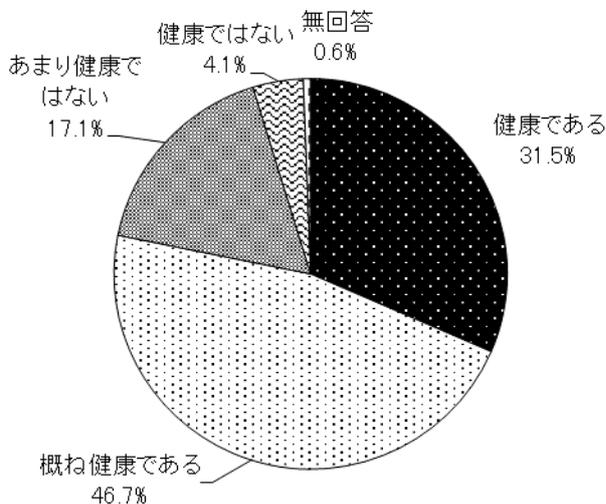
(4) 同居している家族

n=990



(5) 健康状態

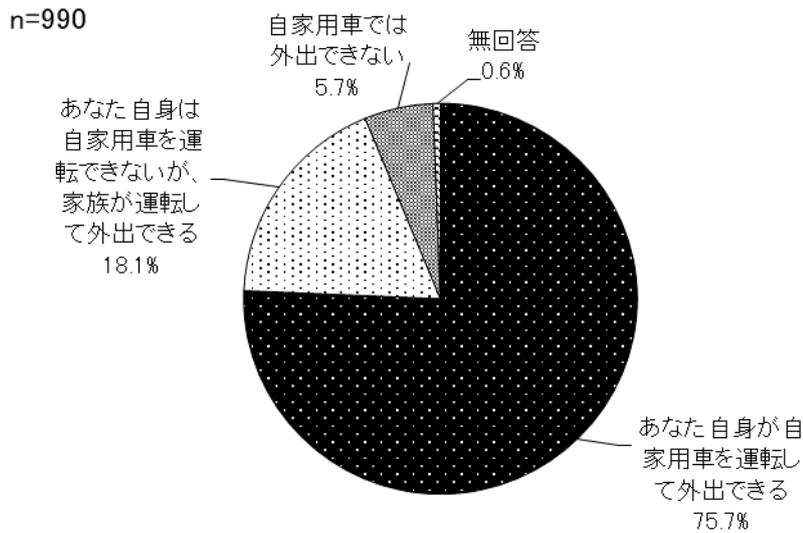
n=990



2 日常生活について

(1) 自家用車を使っての外出状況

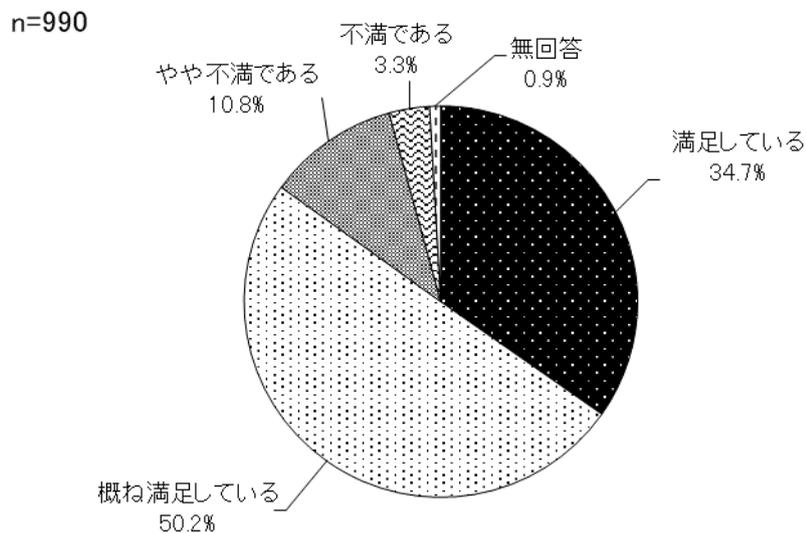
問6 あなたは、自家用車（バイクを含む）を使って、外出することはできますか。（1つだけに☑）



自家用車を使っての外出状況は、「あなたが自身が自家用車を運転して外出できる」が75.7%で最も多く、次いで「あなた自身は自家用車を運転できないが、家族が運転して外出できる」（18.1%）、「自家用車では外出できない」（5.7%）となっている。

(2) 日常生活の満足度

問7 あなたは、自身の日常生活全般について満足していますか。（1つだけに☑）

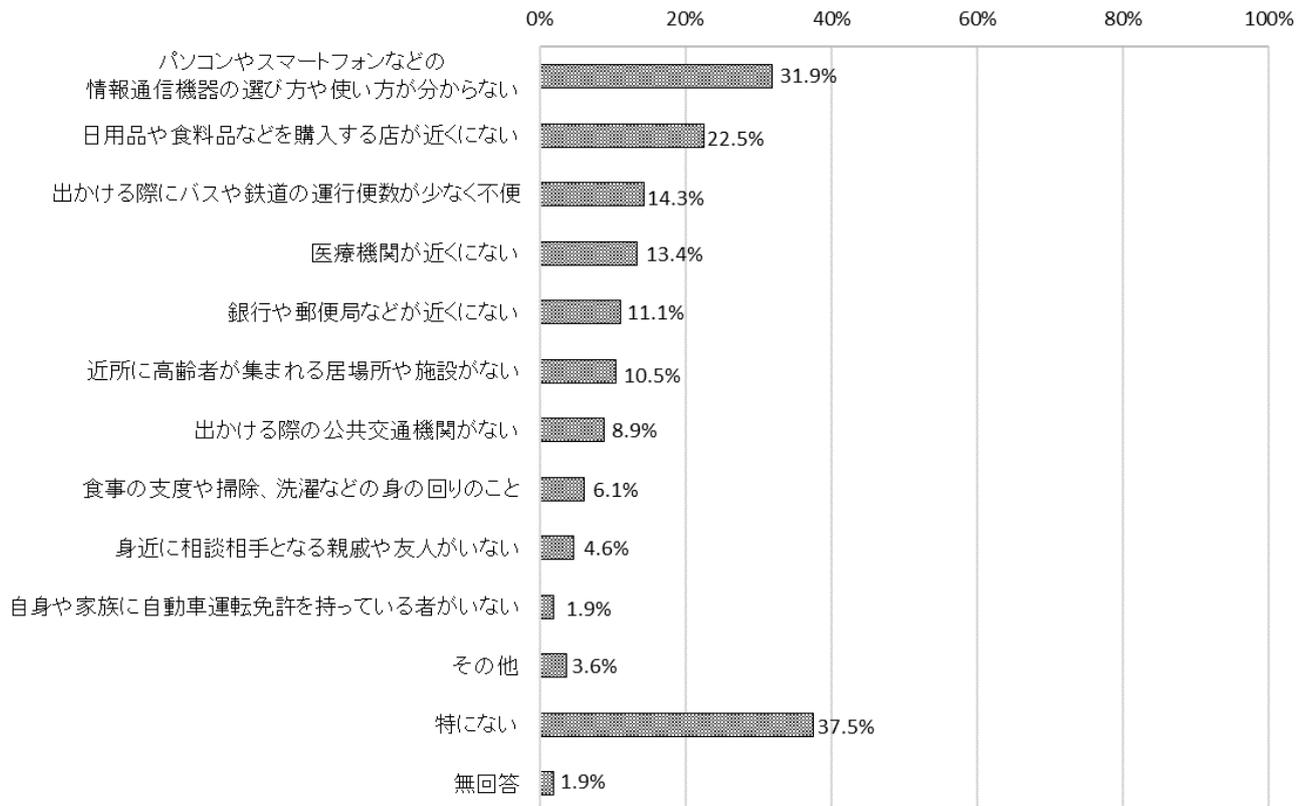


日常生活の満足度は、「概ね満足している」が50.2%で最も多く、「満足している」（34.7%）と合わせた＜満足＞は84.9%となっている。一方、「やや不満である」（10.8%）、「不満である」（3.3%）を合わせた＜不満＞は14.1%となっている。

(3) 日常生活の困っていること、不便に感じていること

問8 あなたが日常生活を送っている中で、困っていることや不便に感じていることはありますか。
(3つ以内で☑)

n=990



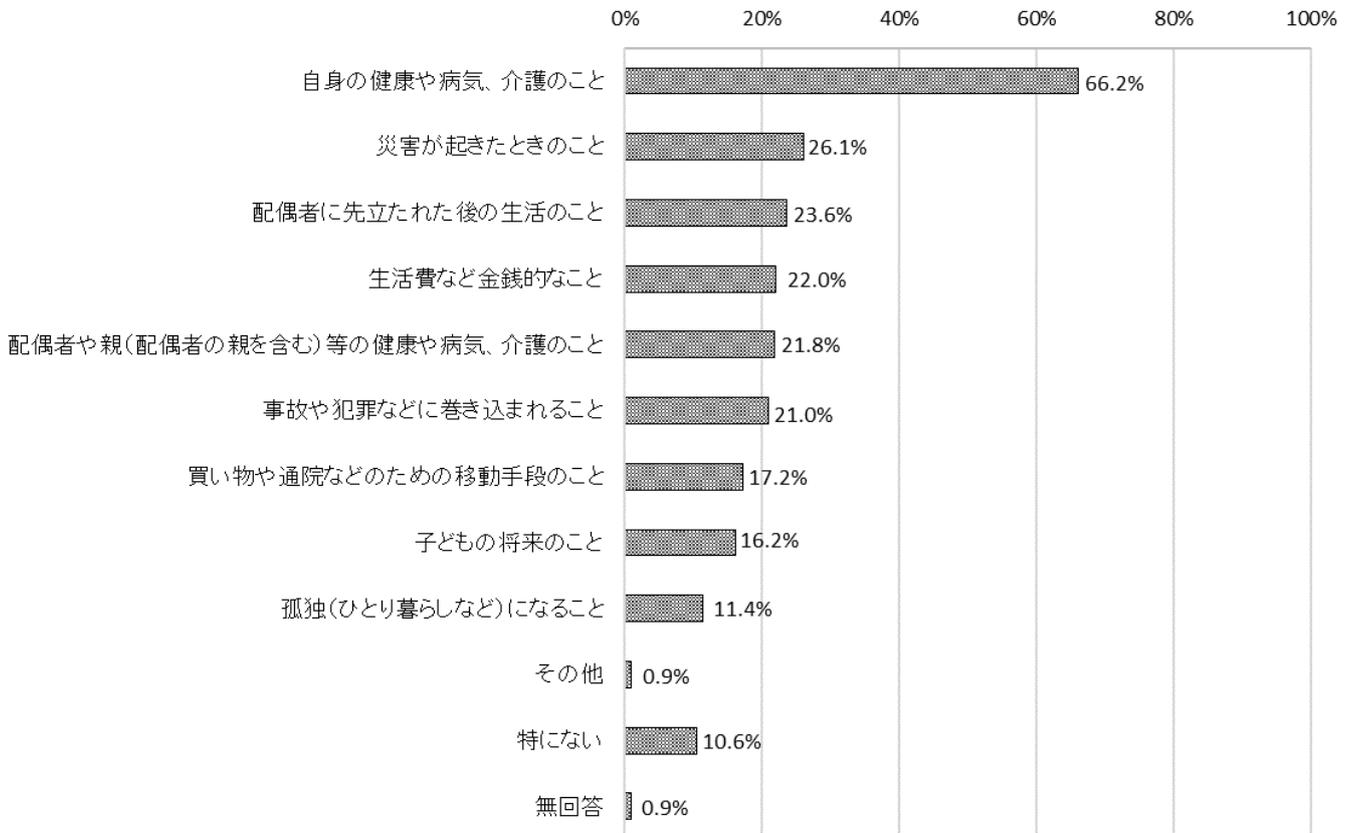
日常生活の困っていること、不便に思っていることは、「パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器の選び方や使い方が分からない」が31.9%で最も多く、次いで「日用品や食料品などを購入する店が近くにない」(22.5%)、「出かける際にバスや鉄道の運行便数が少なく不便」(14.3%)となっている。

一方、「特にない」は37.5%となっている。

(4) 将来の不安や心配事

問9 あなた自身や家族の将来を考えたとき、不安や心配事がありますか。(3つ以内で☑)

n=990



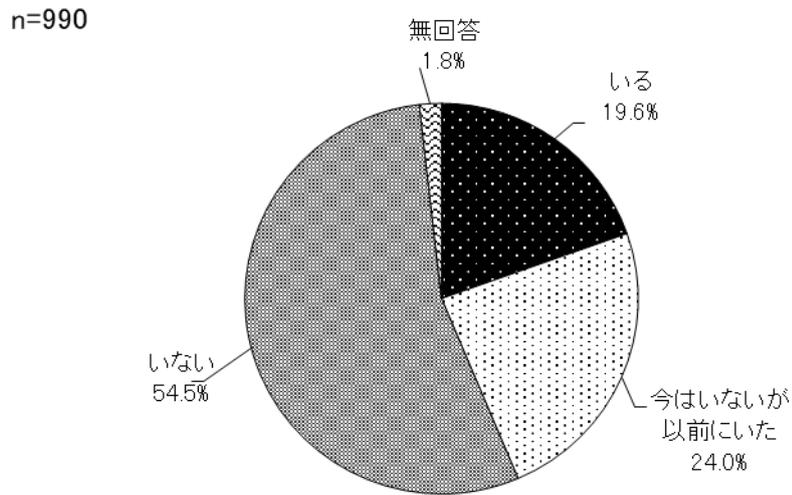
将来の不安や心配事は、「自身の健康や病気、介護のこと」が66.2%で最も多く、次いで「災害が起きたときのこと」(26.1%)、「配偶者に先立たれた後の生活のこと」(23.6%)となっている。

一方、「特にない」は10.6%となっている。

3 介護保険サービスの利用について

(1) 介護保険の利用状況

問 10 あなたやあなたの「配偶者」、「親（配偶者の親を含む）」、「その他同居の家族」で、介護保険を利用している方（利用していた方）はいますか。（1つだけに☑）

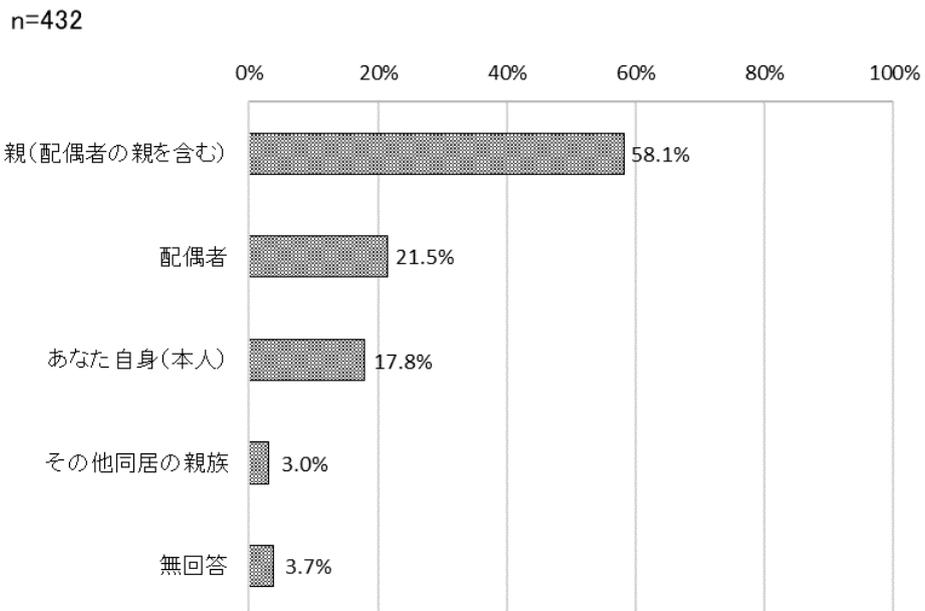


介護保険の利用状況は、利用している方が「いる」は19.6%、「今はいないが以前にいた」が24.0%、「いない」が54.5%となっている。

(2) 介護保険利用者との関係性

【問 10 で「いる」又は「今はいないが以前にいた」と回答】

問 10-2 介護保険を利用している（利用していた）方とあなたの関係を教えてください。（当てはまるもの全てに☑）

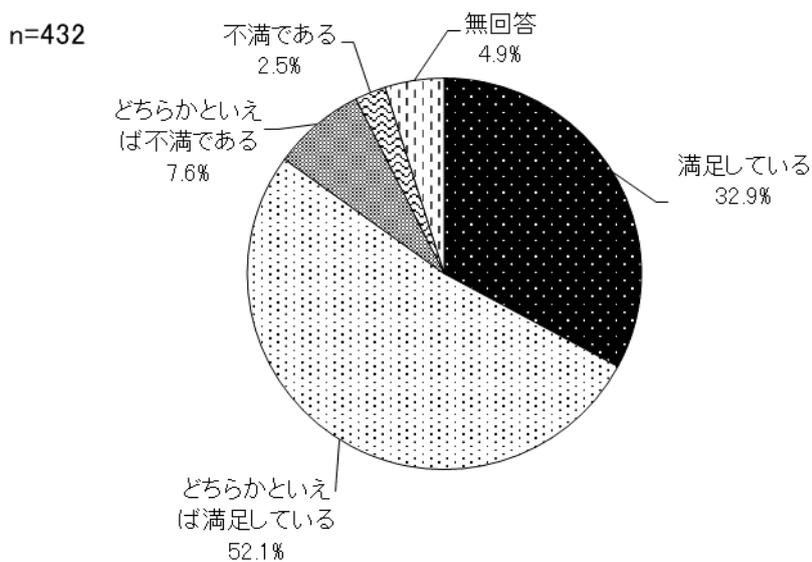


介護保険利用者との関係性は、「親（配偶者の親を含む）」が58.1%で最も多く、次いで「配偶者」（21.5%）、「あなた自身（本人）」（17.8%）となっている。

(3) 利用サービスの満足度

【問 10 で「いる」又は「今はいないが以前にいた」と回答】

問 10-3 利用している（利用していた）サービスに対して満足していますか。（1つだけに☑）



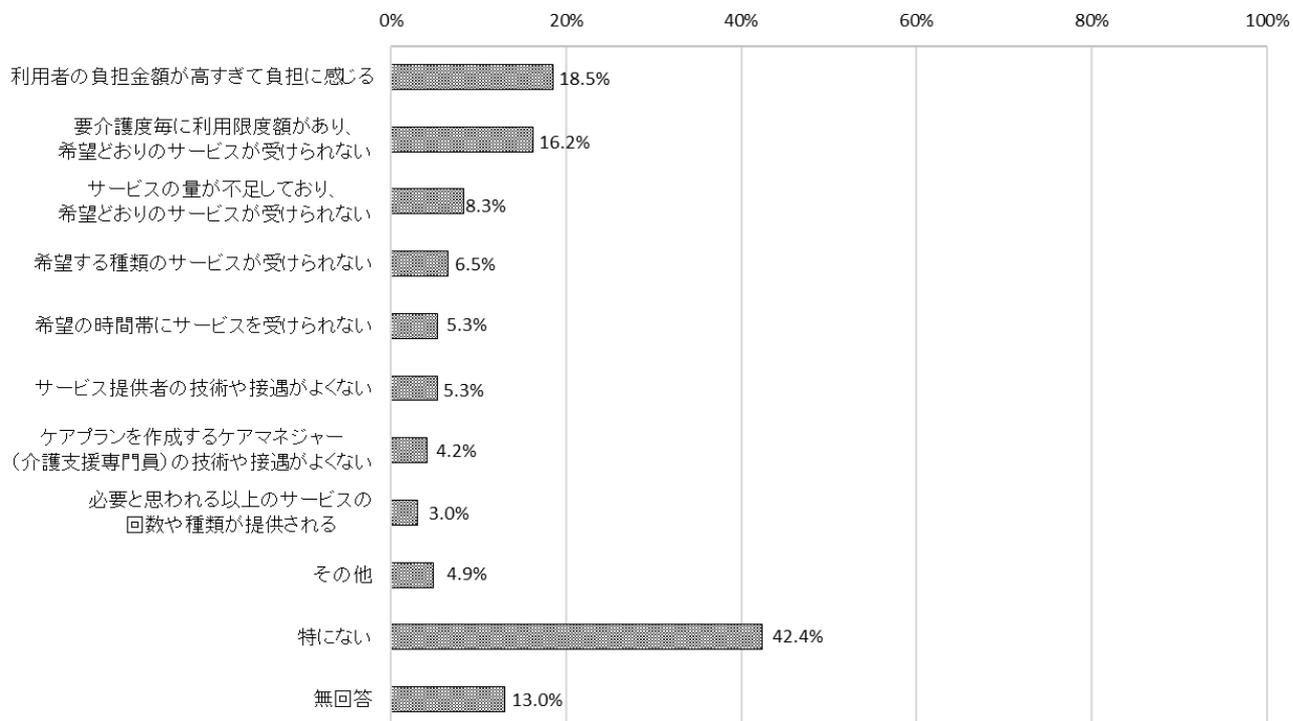
利用サービスの満足度は、「どちらかといえば満足している」が 52.1%で最も多く、「満足している」（32.9%）と合わせた＜満足＞は 85.0%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」（7.6%）、「不満である」（2.5%）を合わせた＜不満＞は 10.1%となっている。

(4) 利用サービスにおいて不満に感じること

【問10で「いる」又は「今はいないが以前にいた」と回答】

問10-4 サービスを利用して、あなたが不満を感じる（感じた）ことはありますか。
（当てはまるもの全てに☑）

n=432



利用サービスにおいて不満に感じることは、「利用者の負担金額が高すぎて負担を感じる」が18.5%で最も多く、次いで「要介護度毎に利用限度額があり、希望どおりのサービスが受けられない」(16.2%)、「サービスの量が不足しており、希望どおりのサービスが受けられない」(8.3%)となっている。

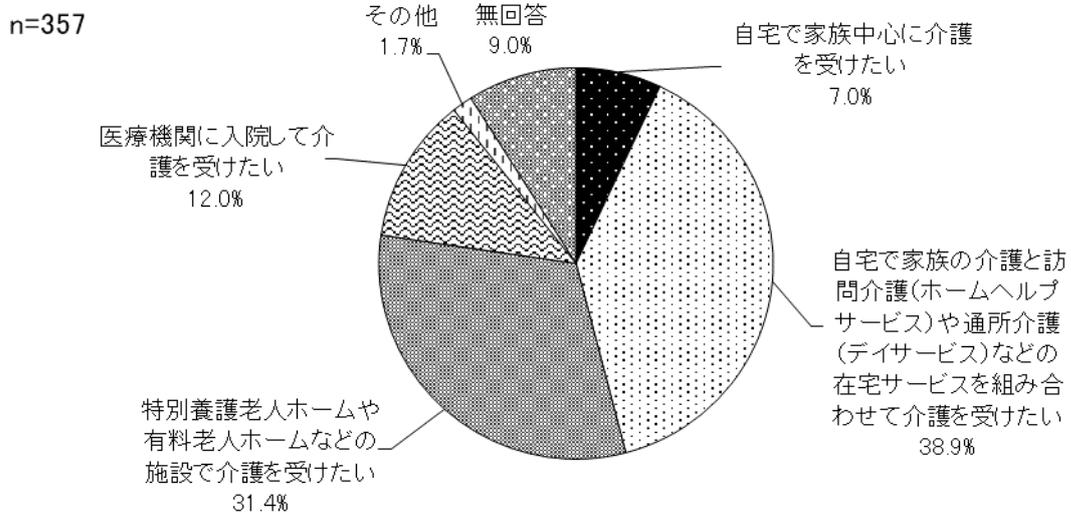
一方、「特にない」は42.4%となっている。

(5) 介護が必要となった場合の希望

【問 10-2 で「配偶者」、「親（配偶者の親を含む）」又は「その他同居の親族」のいずれかを回答】

問 10-5 あなたが介護が必要となった場合、どのような介護を受けることを望みますか。

(あなたの考えに最も近いもの 1 つに☑)



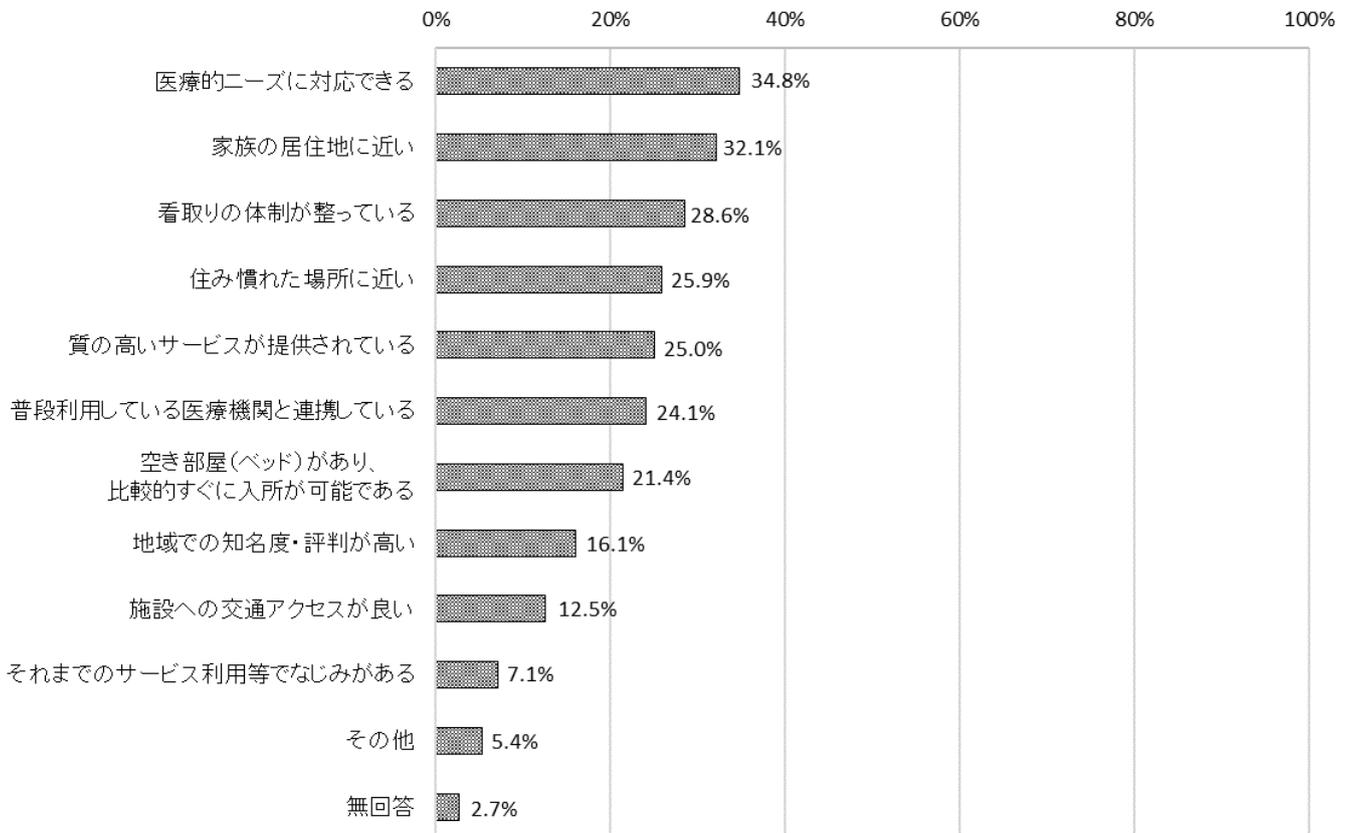
介護が必要となった場合の希望は、「自宅で家族の介護と訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを組み合わせて介護を受けたい」が 38.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」（31.4%）、「医療機関に入院して介護を受けたい」（12.0%）となっている。

(6) 施設を選ぶ際の条件

【問 10-5 で「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」と回答】

問 10-6 施設を選ぶ際に何を考慮するか選んでください。(3つ以内で☑)

n=112



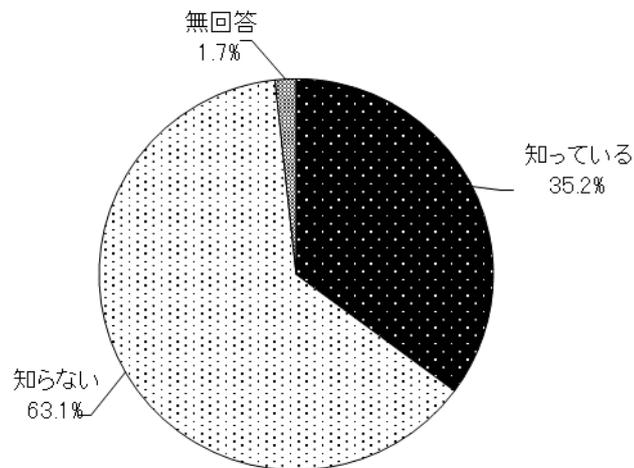
施設を選ぶ際の条件は、「医療的ニーズに対応できる」が 34.8%で最も多く、次いで「家族の居住地に近い」(32.1%)、「看取りの体制が整っている」(28.6%) となっている。

4 介護予防について

(1) 「フレイル」の認知度

問 11 高齢になって筋力や活力が衰えた状態（虚弱）をあらわす「フレイル」という言葉を知っていますか。（一つだけに☑）

n=990

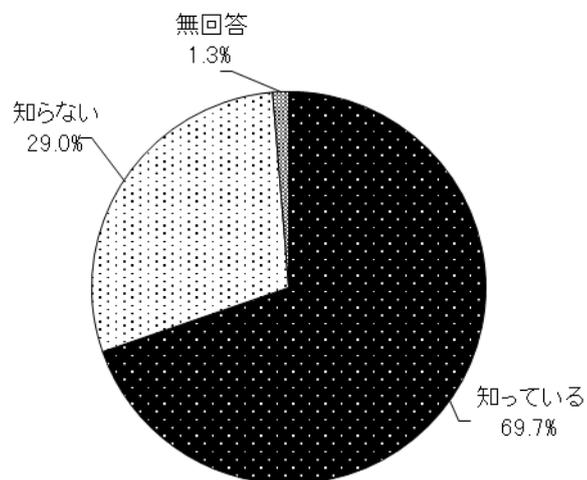


「フレイル」の認知度は、「知っている」が 35.2% 「知らない」が 63.1% となっている。

(2) 介護予防方法の認知度

問 12 週 1 回以上、1 時間ほどのゆっくりとした体操により足の筋肉などを鍛えると、介護予防に大きな効果があることを知っていますか。（一つだけに☑）

n=990

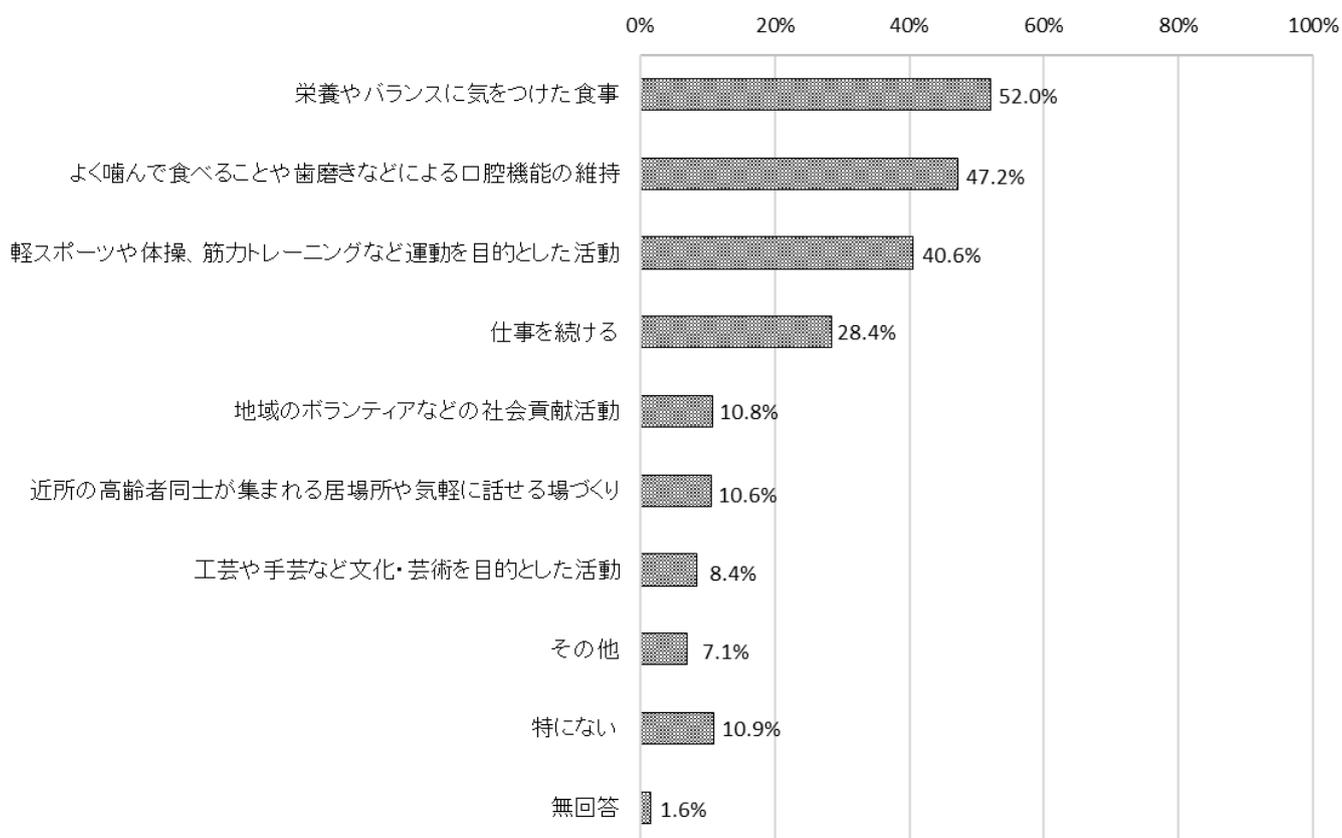


週 1 回以上、1 時間ほどのゆっくりとした体操により足の筋肉などを鍛えると、介護予防に大きな効果があることの認知度は、「知っている」が 69.7% 「知らない」が 29.0% となっている。

(3) 介護予防の取り組み

問 13 あなたが、今後介護を必要とする状態にならないために（状態が悪くならないために）取り組んでいることはありますか。（3つ以内で☑）

n=990



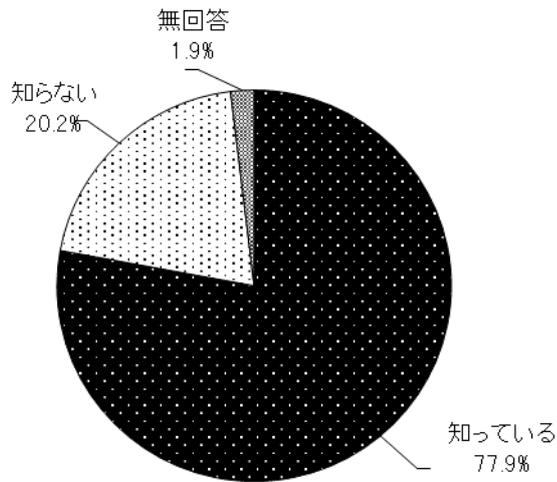
介護予防の取り組みは、「栄養やバランスに気をつけた食事」が52.0%で最も多く、次いで「よく噛んで食べることや歯磨きなどによる口腔機能の維持」（47.2%）、「軽スポーツや体操、筋力トレーニングなど運動を目的とした活動」（40.6%）となっている。

5 介護保険料について

(1) 介護保険料について

問 14 あなたが市町村に納めている介護保険料が概ねいくらか知っていますか。(1つだけに☑)

n=990

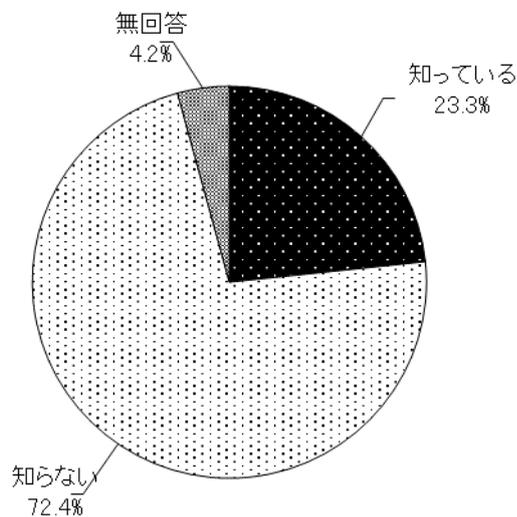


介護保険料について、自身が市町村に納めている介護保険料の金額を「知っている」が77.9%、「知らない」が20.2%となっている。

(2) 介護サービスの利用料

問 15 介護保険サービスを利用している（利用する）場合、月々の利用料（自己負担額）を知っていますか。(1つだけに☑)

n=990

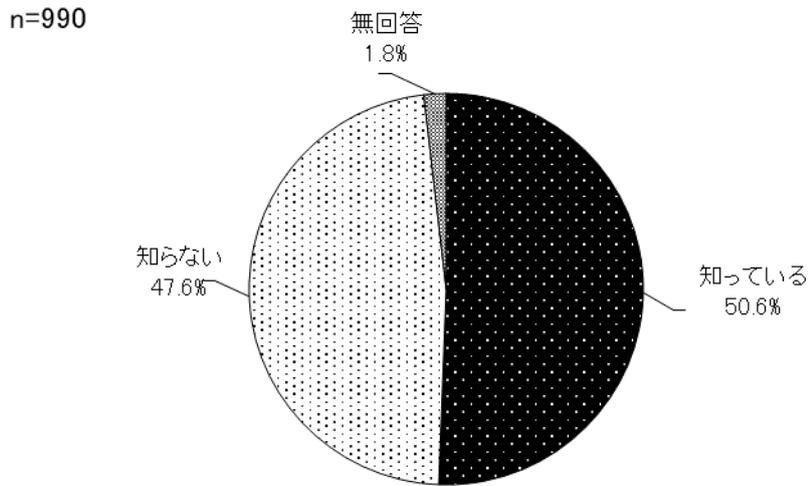


介護サービスの利用料について、自身が介護サービスを利用している場合の月々の利用料を「知っている」が23.3%、「知らない」が72.4%となっている。

6 地域包括支援センターについて

(1) 「地域包括支援センター」の認知度

問 16 あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけに☑)

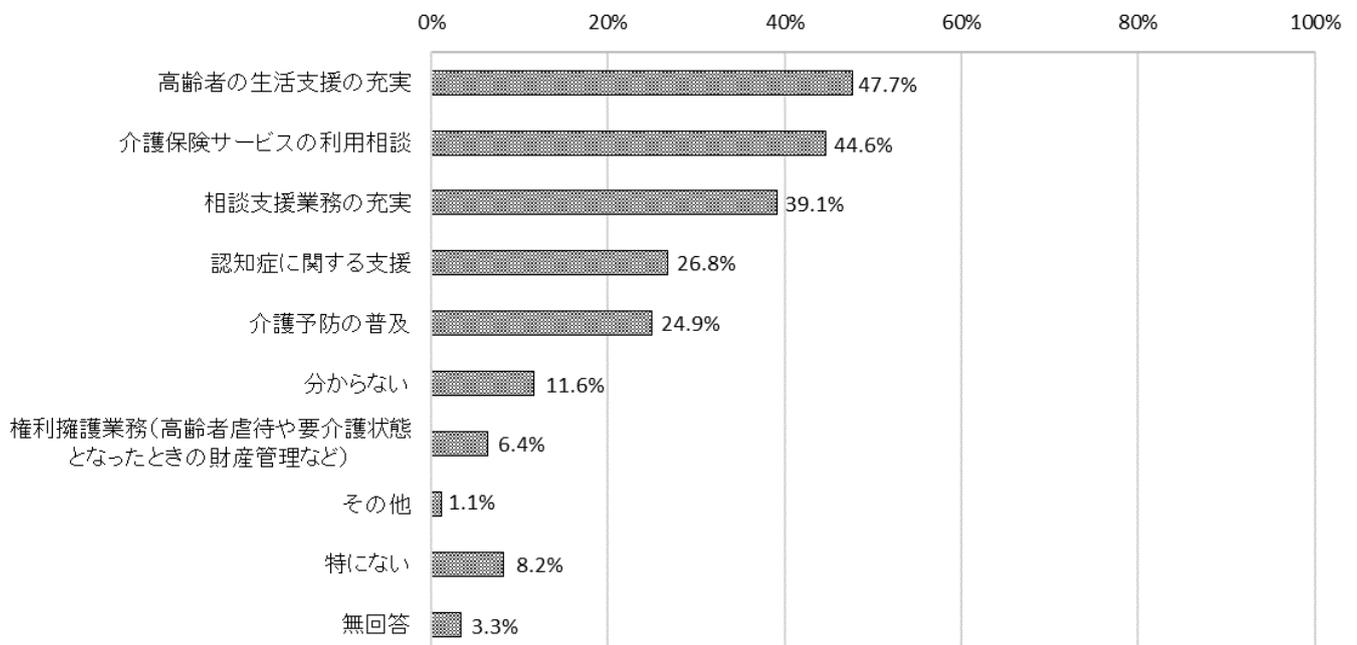


「地域包括支援センター」の認知度は、「知っている」が50.6%、「知らない」が47.6%となっている。

(2) 地域包括支援センターに期待すること

問 17 地域包括支援センターにどのようなことを期待しますか。(3つ以内で☑)

n=990



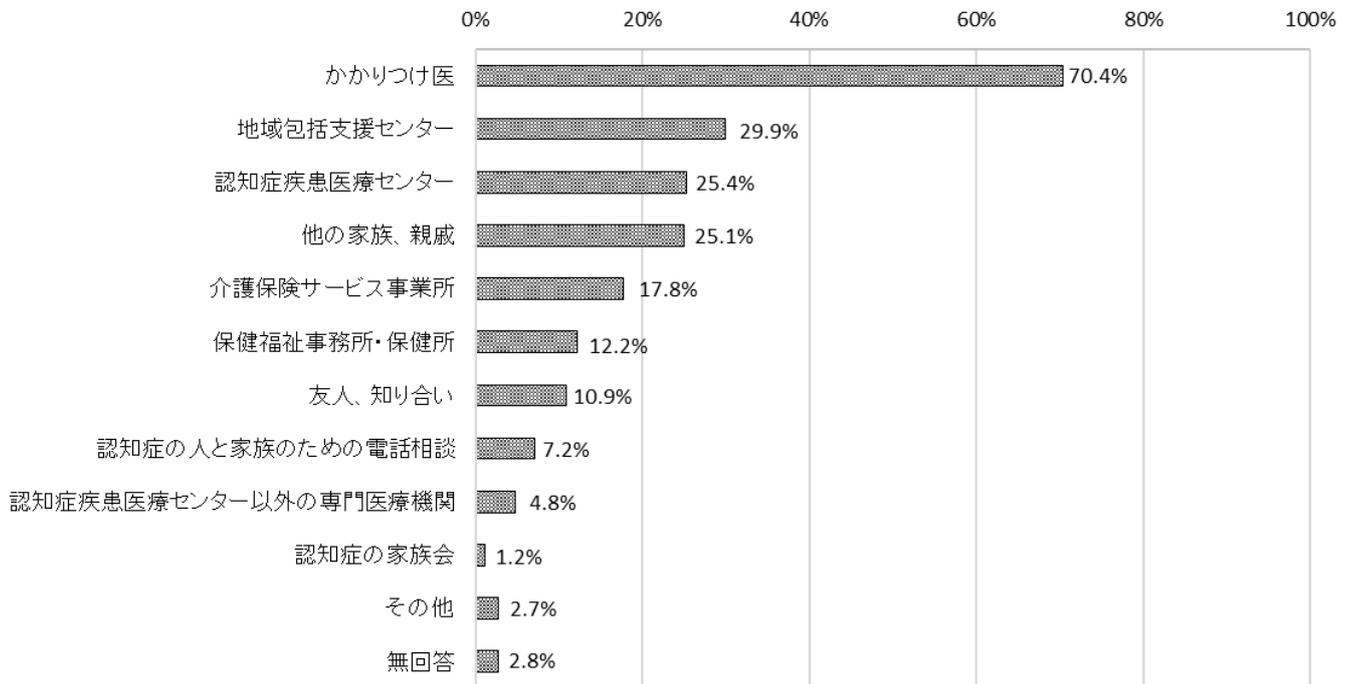
地域包括支援センターに期待することは、「高齢者の生活支援の充実」が47.7%で最も多く、次いで「介護保険サービスの利用相談」(44.6%)、「相談支援業務の充実」(39.1%)となっている。

7 認知症について

(1) 認知症についての相談場所

問 18 あなた自身や家族が認知症の心配があるとき、どこに相談をしますか。(3つ以内で☑)

n=990

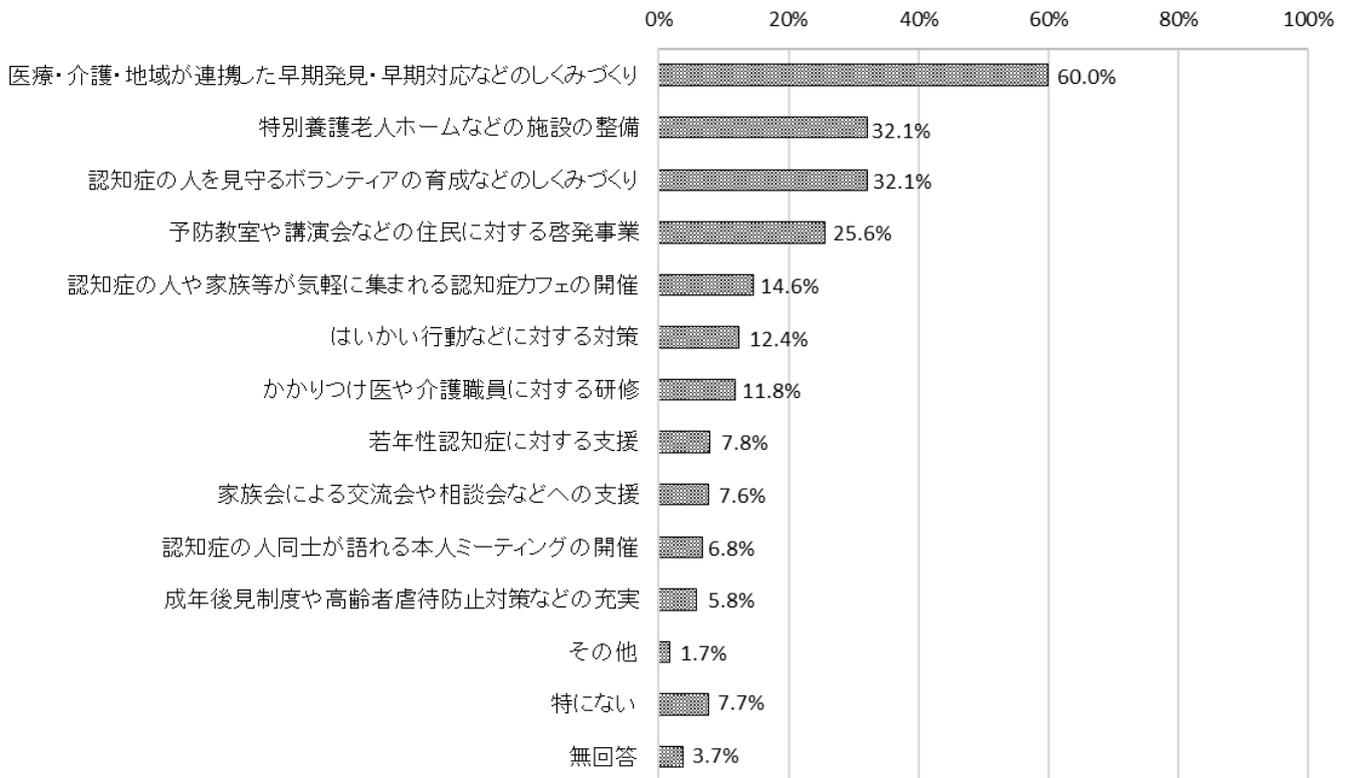


認知症についての相談場所は、「かかりつけ医」が70.4%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(29.9%)、「認知症疾患医療センター」(25.4%)となっている。

(2) 認知症施策において重要なこと

問 19 今後、県や市町村が認知症施策を進めていく上で、どのようなことに重点を置いた方がよいと考えますか。(3つ以内で☑)

n=990

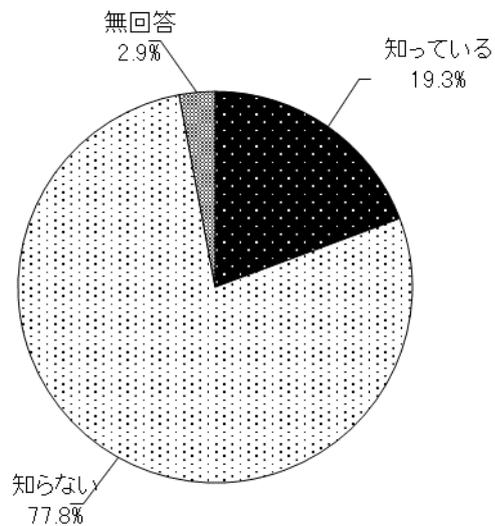


認知症施策において重要だと考えることは、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期対応などのしくみづくり」が60.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設の整備」(32.1%)及び「認知症の人を見守るボランティアの育成などのしくみづくり」(32.1%)となっている。

(3) 「認知症疾患医療センター」の認知度

問 20 住まいの近くにある、認知症に関する相談や鑑別診断を行う「認知症疾患医療センター」を知っていますか。(1つだけに☑)

n=990



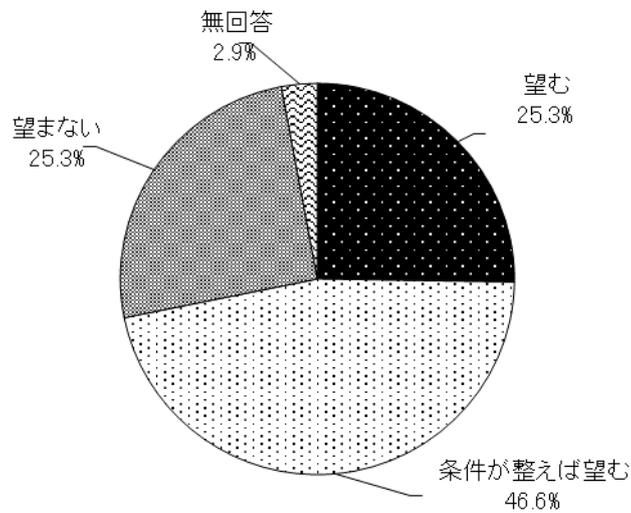
「認知症疾患医療センター」の認知度は、「知っている」が19.3%、「知らない」が77.8%となっている。

8 在宅医療・介護について

(1) 自宅療養の希望について

問 21 もし、あなたが治療や療養を必要とする場合、自宅での療養を望みますか。
(1つだけに☑)

n=990



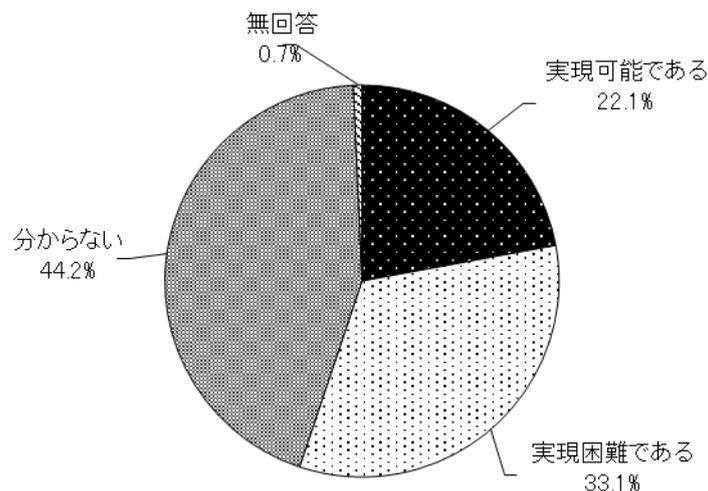
自宅療養の希望については、「望む」が25.3%、「条件が整えば望む」が46.6%、「望まない」が25.3%となっている。

(2) 自宅療養の実現性

【問 21 で「望む」又は「条件が整えば望む」と回答】

問 21-2 自宅での療養は実現可能だと考えますか。(1つだけに☑)

n=711



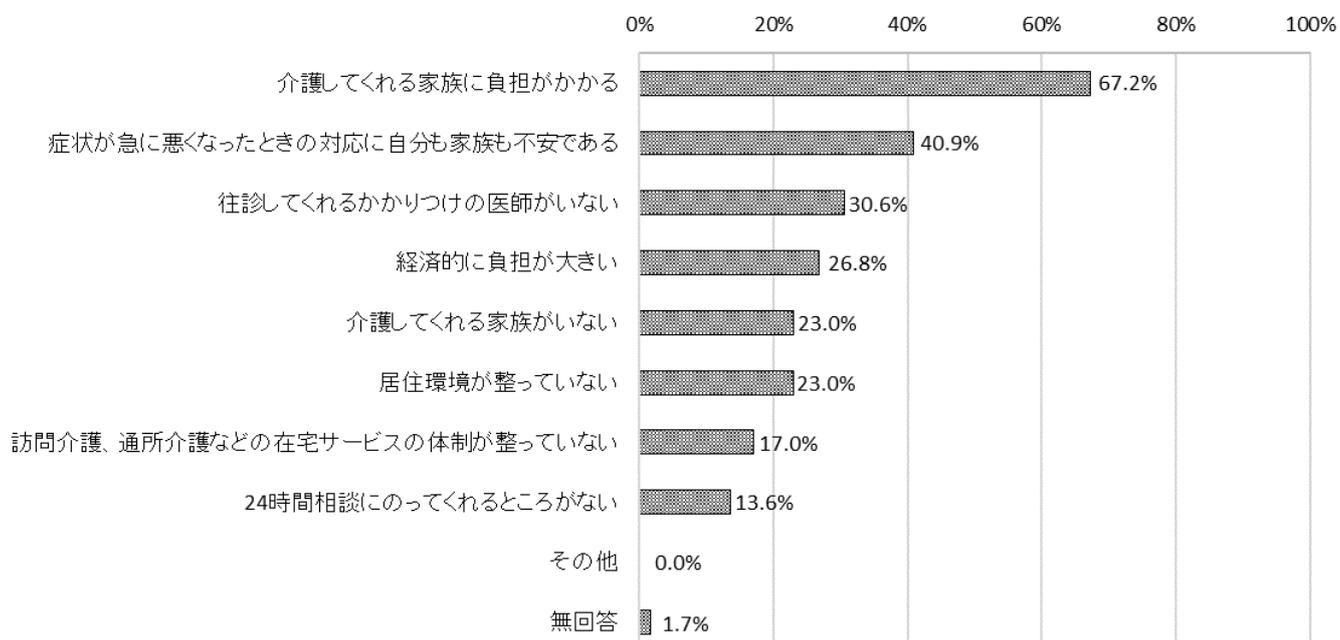
自宅療養の実現性は、「実現可能である」が22.1%、「実現困難である」が33.1%、「分からない」が44.2%となっている。

(3) 自宅療養が実現困難な理由

【問 21-2 で「実現困難である」と回答】

問 21-3 自宅療養が実現困難であると考える理由は何ですか。(3つ以内で☑)

n=235

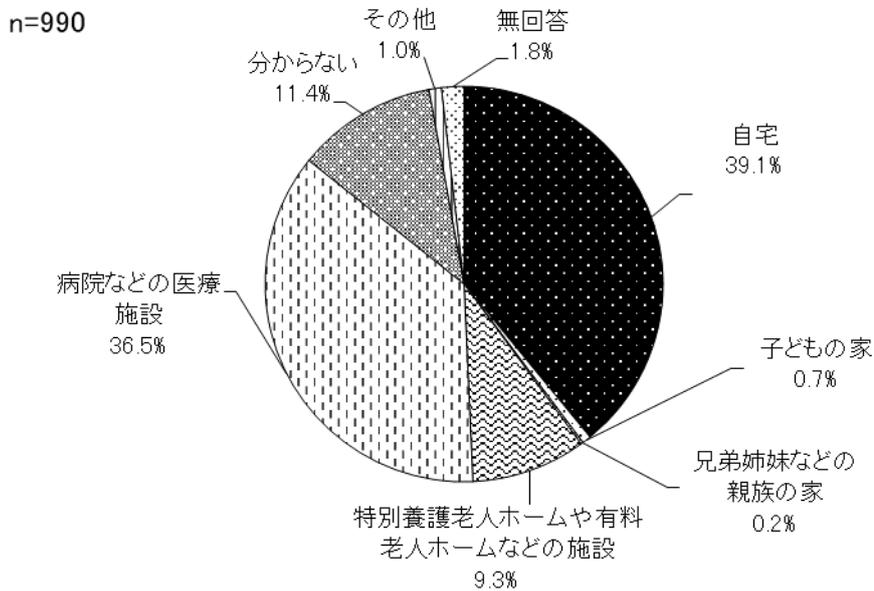


自宅療養が実現困難な理由は、「介護してくれる家族に負担がかかる」が 67.2%で最も多く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」(40.9%)、「往診してくれるかかりつけの医師がない」(30.6%) となっている。

9 人生最終段階の医療・ケアについて

(1) 最期を過ごしたい場所について

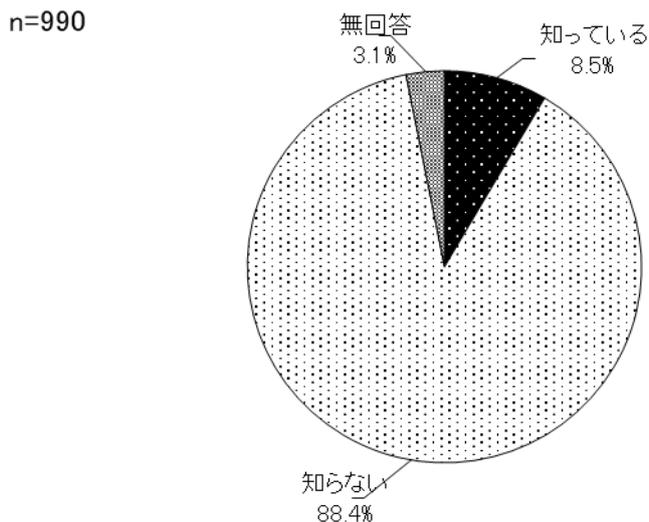
問 22 もし、あなたが治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を過ごしたいですか。
(1つだけに☑)



最期を過ごしたい場所は、「自宅」が 39.1%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」(36.5%)、「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設」(9.3%)となっている。
一方、「分からない」は 11.4%となっている。

(2) 「アドバンス・ケア・プランニング」の認知度

問 23 あなたは「アドバンス・ケア・プランニング」という言葉を知っていますか。(1つだけに☑)



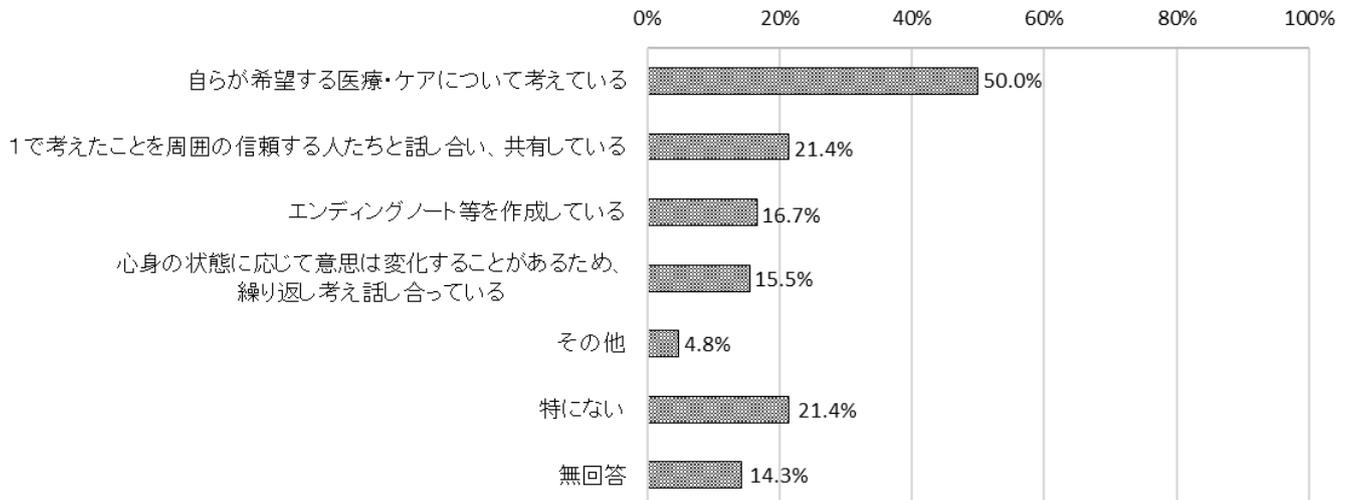
「アドバンス・ケア・プランニング」の認知度は、「知っている」が 8.5%、「知らない」が 88.4%となっている。

(3) 「アドバンス・ケア・プランニング」の取り組み

【問 23 で「知っている」と回答】

問 23-2 アドバンス・ケア・プランニングについて、あなたが取り組んでいることはありますか。
(当てはまるもの全てに☑)

n=84



アドバンス・ケア・プランニングの取り組みについては、「自らが希望する医療・ケアについて考えている」が50.0%で最も多く、次いで「自らが希望する医療・ケア」について考えたことを周囲の信頼する人たちと話し合い、共有している(21.4%)、「エンディングノート等を作成している」(16.7%)となっている。

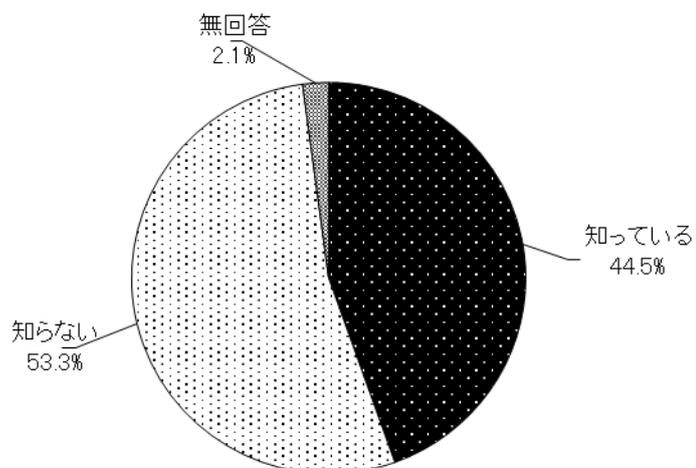
一方、「特にない」は21.4%となっている。

10 薬局について

(1) 「かかりつけ薬剤師」の認知度

問 24 あなたは「かかりつけ薬剤師」を知っていますか。(1つだけに☑)

n=990

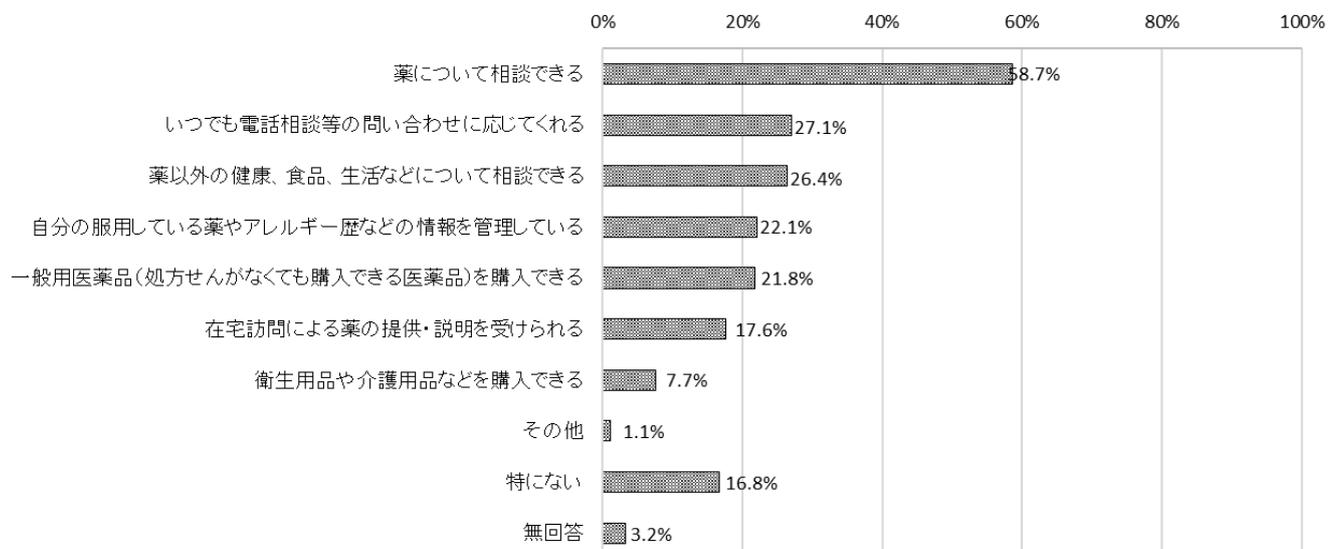


「かかりつけ薬剤師」の認知度は、「知っている」が 44.5%、「知らない」が 53.3%となっている。

(2) 今後、薬局に期待すること

問 25 今後、薬局にどのようなことを期待しますか。(3つ以内で☑)

n=990



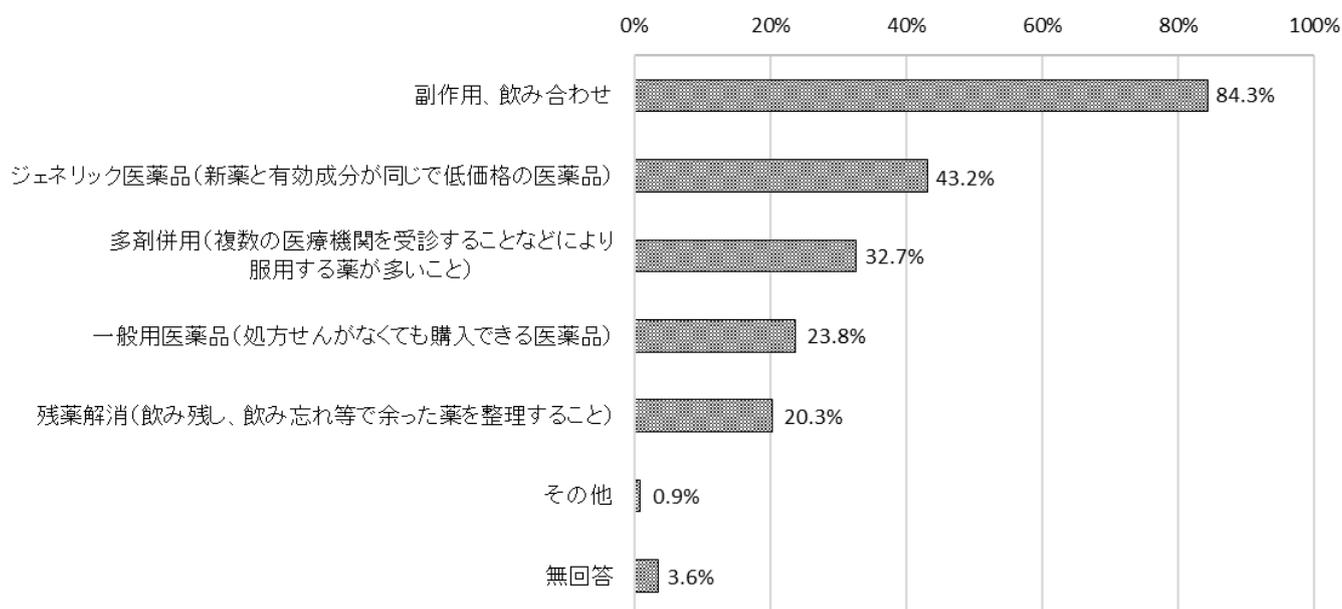
今後、薬局に期待することは、「薬について相談できる」が58.7%で最も多く、次いで「いつでも電話相談等の問い合わせに応じてくれる」(27.1%)、「薬以外の健康、食品、生活などについて相談できる」(26.4%)となっている。

(3) 薬について相談したいこと

【問 25 で「薬について相談できる」と回答】

問 25-2 薬のどんなことをお聞きしたいですか。(3つ以内で☑)

n=581

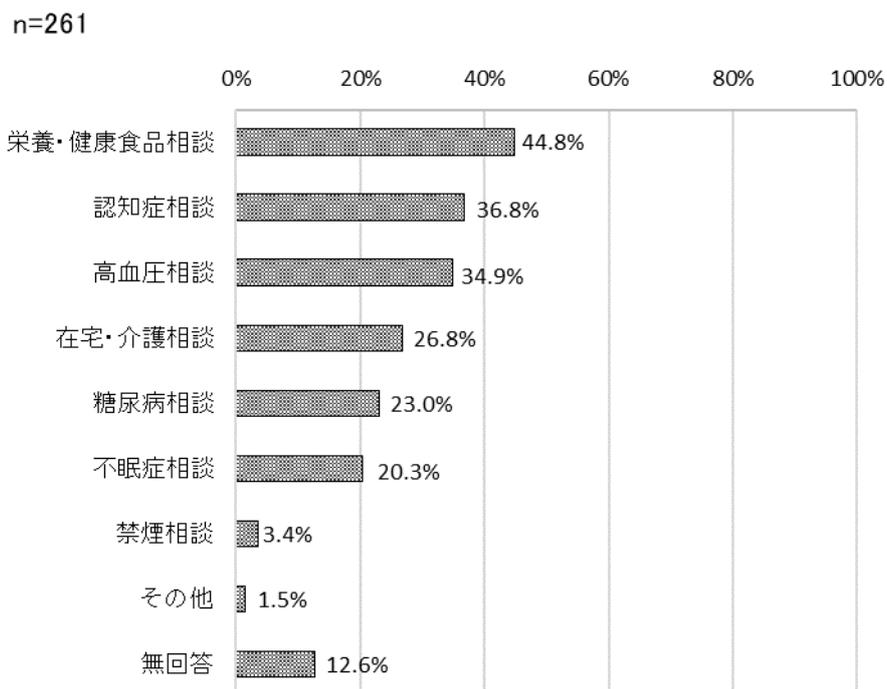


薬について相談したいことは、「副作用、飲み合わせ」が 84.3% で最も多く、次いで「ジェネリック医薬品(新薬と有効成分が同じで低価格の医薬品)」(43.2%)、「多剤併用(複数の医療機関を受診することなどにより服用する薬が多いこと)」(32.7%) となっている。

(4) 薬以外の健康、食品、生活などについて相談したいこと

【問 25 で「薬以外の健康、食品、生活などについて相談できる」と回答】

問 25-3 薬以外の健康、食品、生活に関することで、今後、薬局にぜひ対応してもらいたい相談内容は何か。(3つ以内で☑)



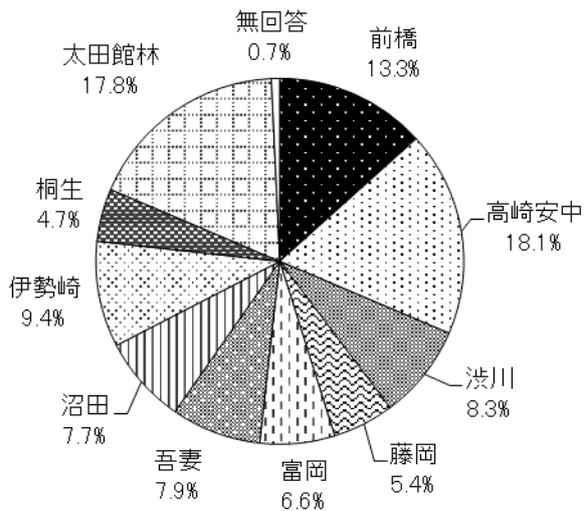
薬以外の健康、食品、生活などについて相談したいことは、「栄養・健康食品相談」が 44.8%で最も多く、次いで「認知症相談」(36.8%)、「高血圧相談」(34.9%)となっている。

Ⅲ 調査結果（介護家族等に関する県民意識調査）

1 属性

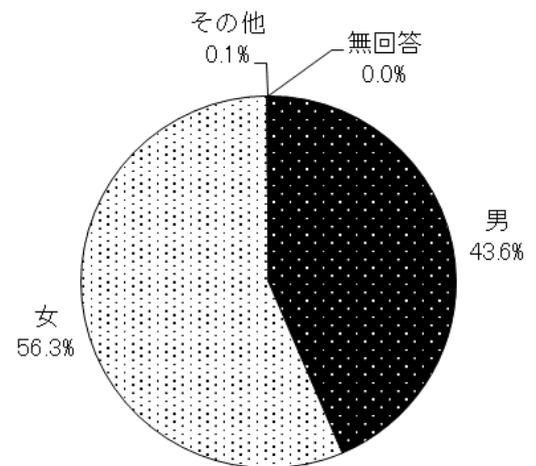
(1) 保健福祉圏域

n=684



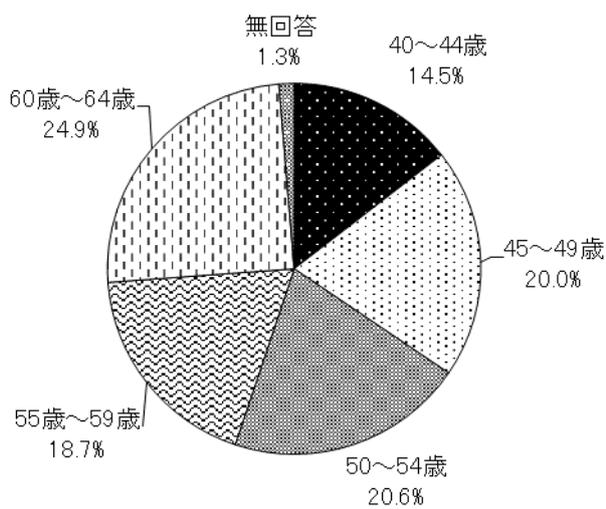
(2) 性別

n=684



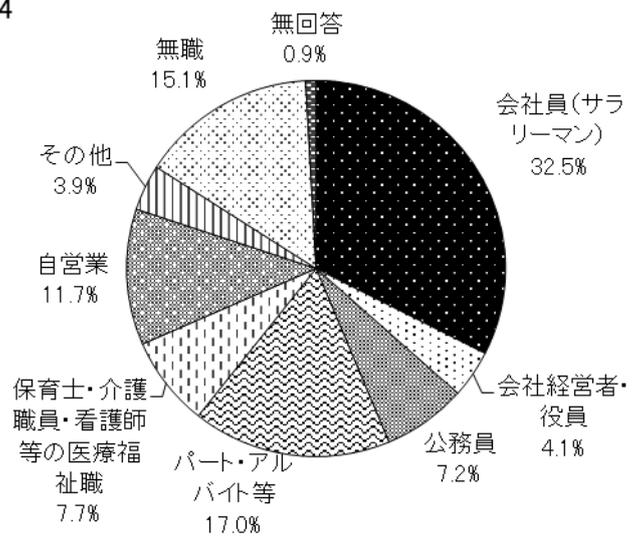
(3) 年齢

n=684



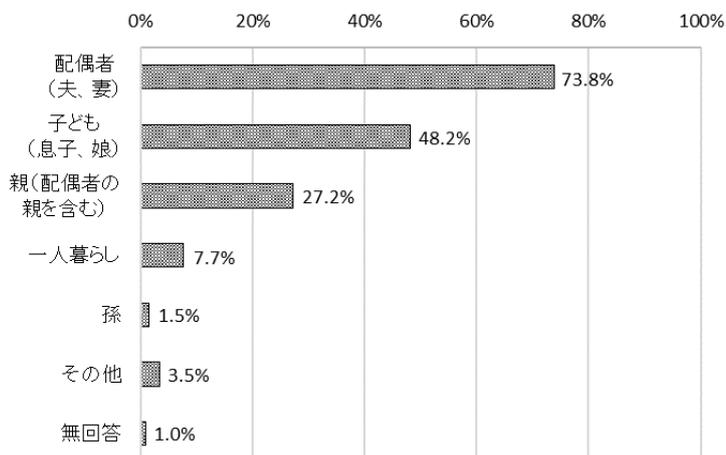
(4) 職業

n=684



(5) 同居している家族

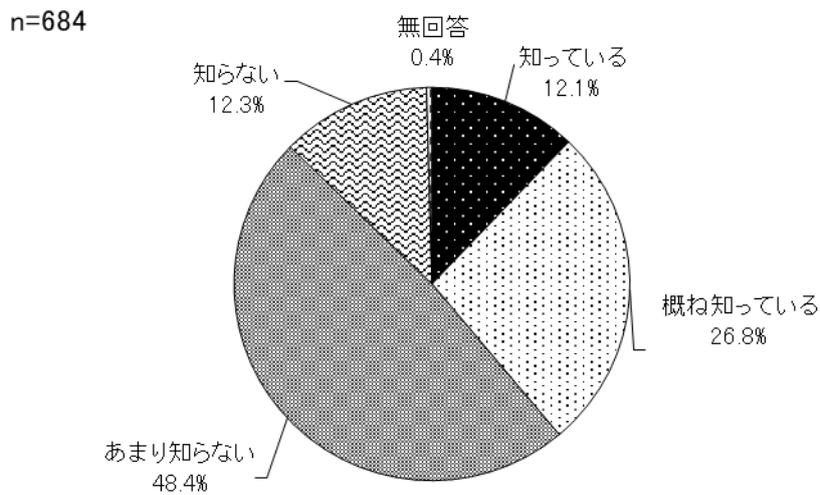
n=684



2 介護保険制度について

(1) 介護についての知識や介護保険の仕組みの認知度

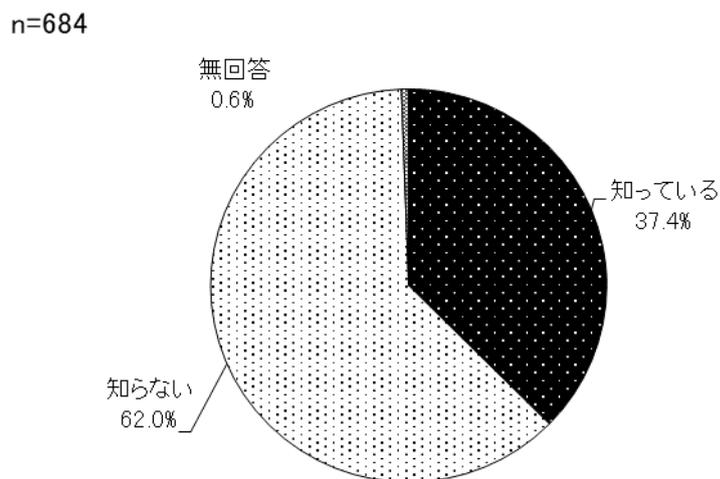
問6 介護についての知識や介護保険の仕組みを知っていますか。(1つだけに☑)



介護についての知識や介護保険の仕組みの認知度は、「知っている」(12.1%)、「概ね知っている」(26.8%)を合わせた<知っている>は38.9%となっている。一方、「あまり知らない」(48.4%)、「知らない」(12.3%)を合わせた<知らない>は60.7%となっている。

(5) 介護保険料について

問7 あなたの介護保険料(医療保険の介護分)が概ねいくらか知っていますか。(1つだけに☑)



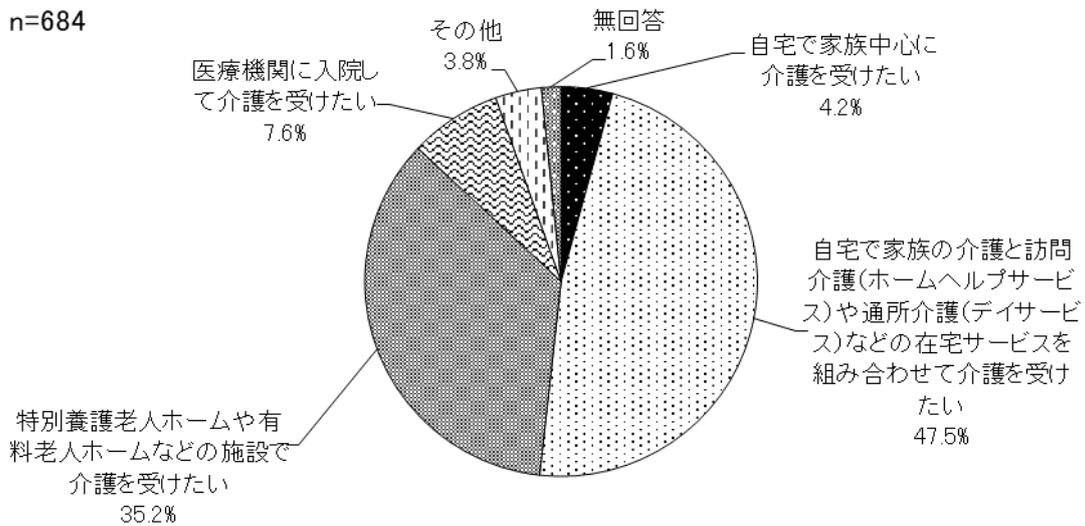
介護保険料について、自身の金額を「知っている」が37.4%、「知らない」が62.0%となっている。

3 介護や介護保険サービスの利用について

(1) 介護が必要となった場合の希望

問8 あなたが介護が必要となった場合、どのような介護を受けることを望みますか。(あなたの考えに最も近いもの1つだけに☑)

n=684



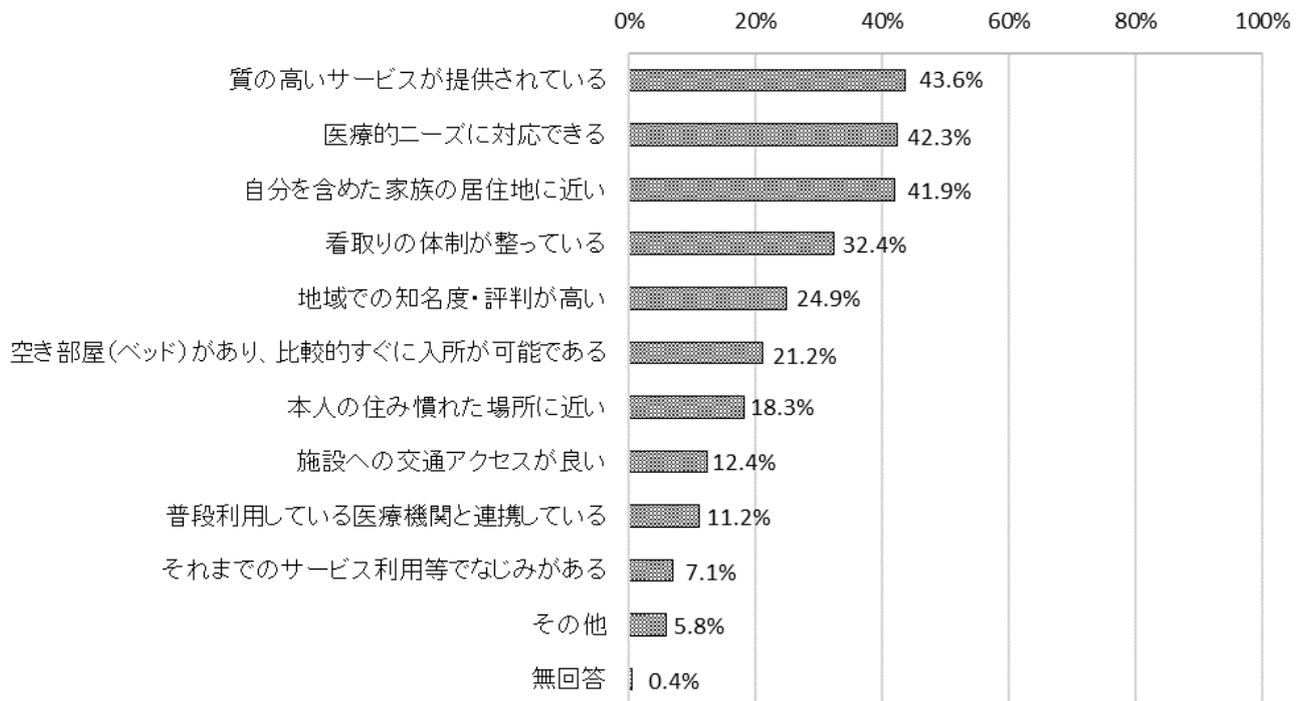
介護が必要となった場合の希望は、「自宅家族の介護と訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを組み合わせて介護を受けたい」が 47.5%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」（35.2%）、「医療機関に入院して介護を受けたい」（7.6%）となっている。

(2) 施設を選ぶ際の条件

【問8で「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」と回答】

問8-2 施設を選ぶ際に何を考慮するか選んでください。(3つ以内で☑)

n=241

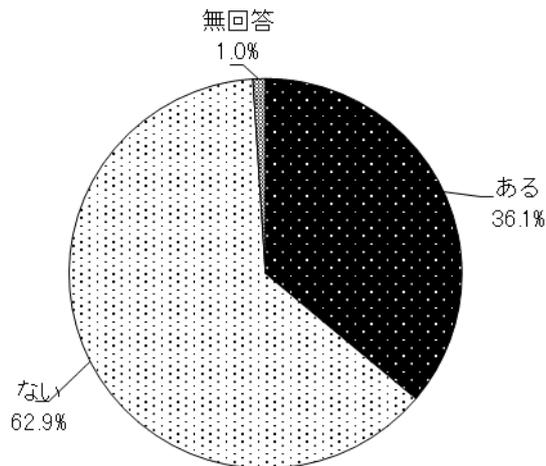


施設を選ぶ際の条件は、「質の高いサービスが提供されている」が43.6%で最も多く、次いで「医療的ニーズに対応できる」(42.3%)、「自分を含めた家族の居住地に近い」(41.9%)となっている。

(3) 親族の介護経験

問9 親族の介護をした経験はありますか。(1つだけに☑)

n=684



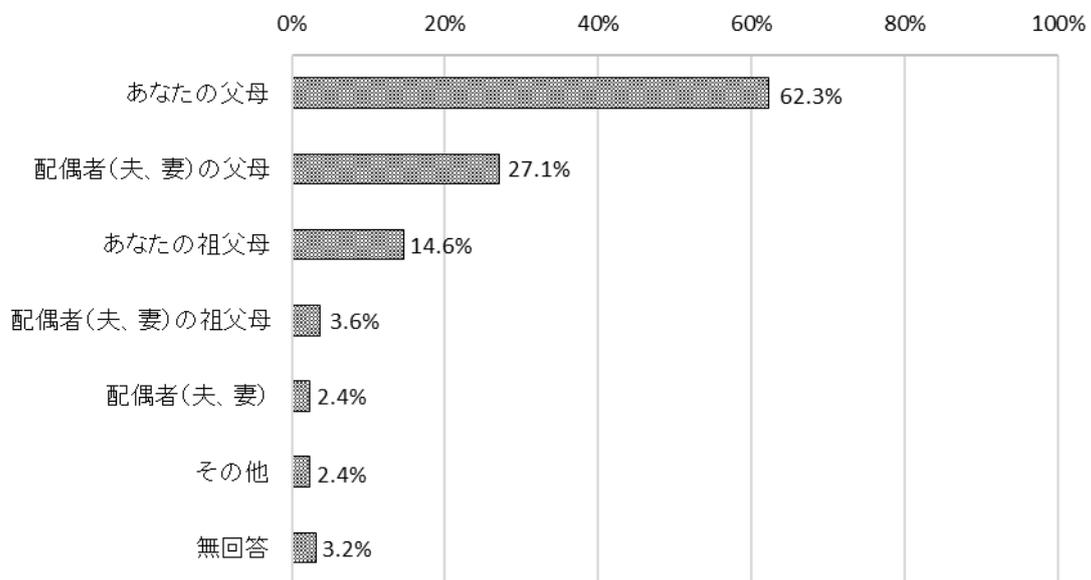
親族の介護経験は、「ある」が36.1%、「ない」が62.9%となっている。

(4) 介護の対象者との関係性

【問9で「ある」と回答】

問10 その時の介護の対象者は誰ですか。(当てはまるもの全てに☑)

n=247

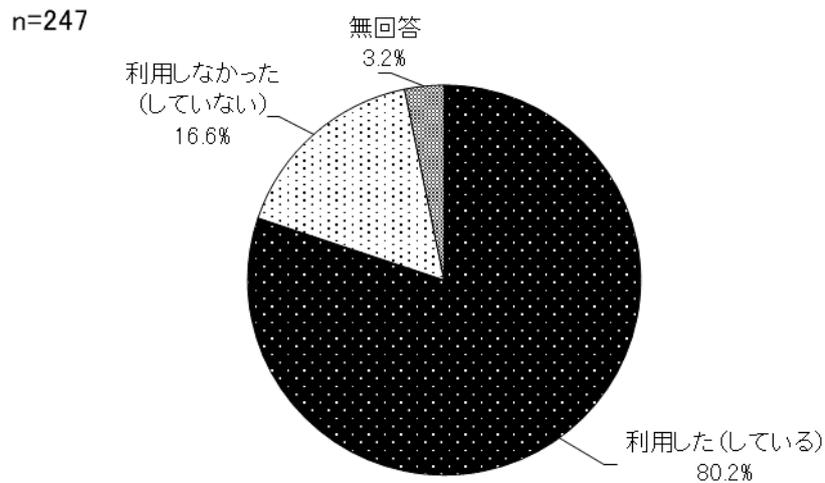


介護の対象者との関係性は、「あなたの父母」が62.3%で最も多く、次いで「配偶者(夫、妻)の父母」(27.1%)、「あなたの祖父母」(14.6%)となっている。

(5) 介護保険サービスの利用の有無

【問9で「ある」と回答】

問11 介護をしている時、介護保険サービスを利用しましたか。(1つだけに☑)

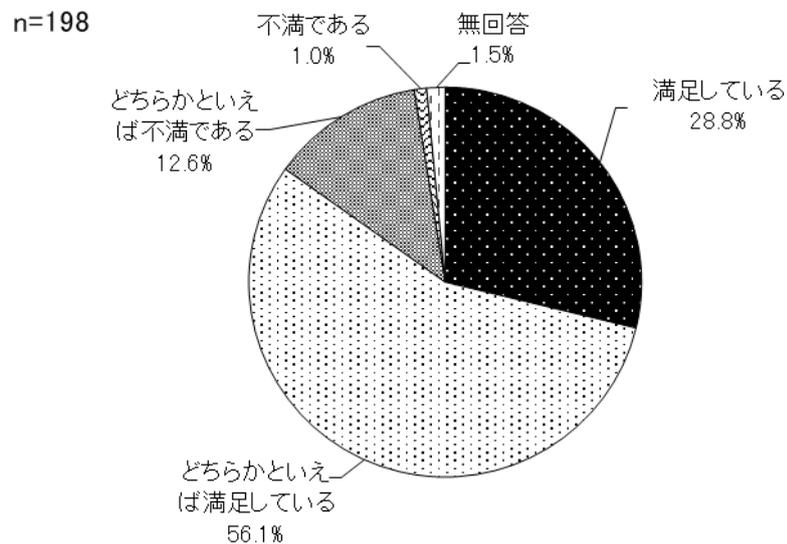


介護保険サービスの利用の有無は、「利用した(している)」が80.2%、「利用しなかった(していない)」が16.6%となっている。

(6) 利用サービスの満足度

【問11で「利用した(している)」と回答】

問12 介護保険サービスを利用した場合、その満足度はいかがでしたか。(1つだけに☑)



利用サービスの満足度は、「どちらかといえば満足している」が56.1%で最も多く、「満足している」(28.8%)と合わせた<満足>は84.9%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(12.6%)、「不満である」(1.0%)を合わせた<不満>は13.6%となっている。

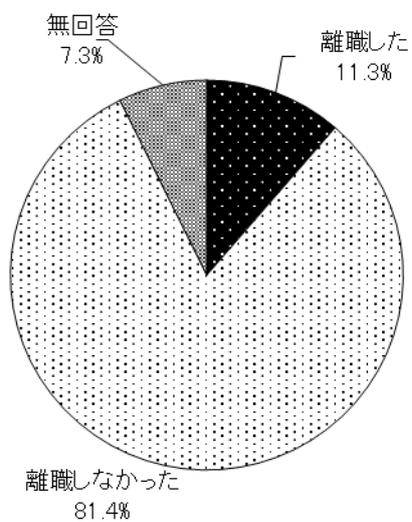
4 介護離職について

(1) 介護離職の経験の有無

【問9で「ある」と回答】

問13 あなた又は配偶者が、介護のために離職をしましたか。(1つだけに☑)

n=247



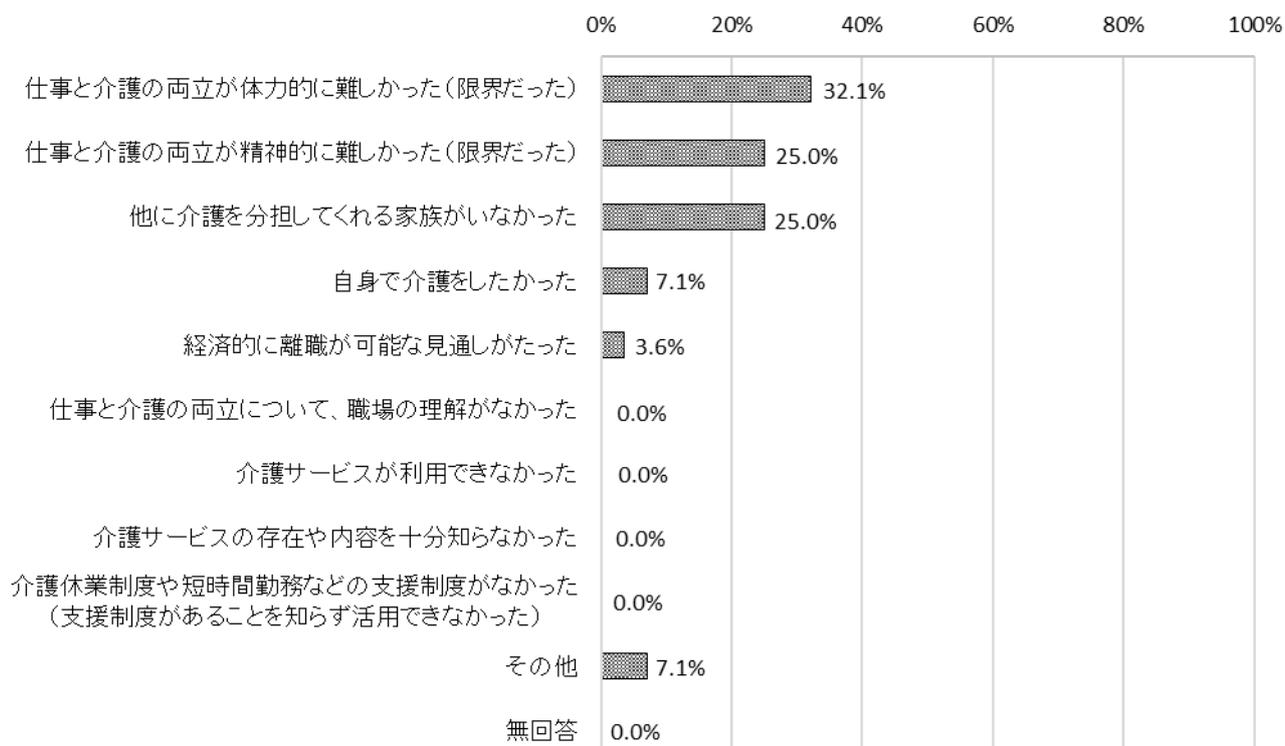
介護離職の経験は、「離職した」が11.3%、「離職しなかった」が81.4%となっている。

(2) 介護離職の理由について

【問 13 で「離職した」と回答】

問 13-2 離職した理由を選んでください。(最も当てはまる 1 つだけに☑)

n=28



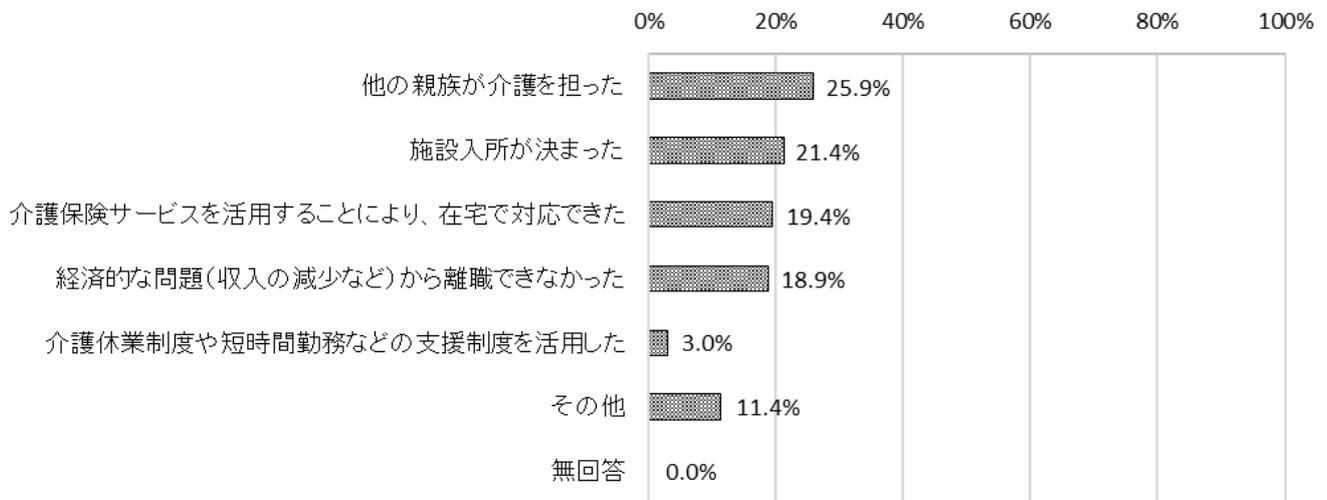
介護離職した理由は、「仕事と介護の両立が体力的に難しかった(限界だった)」が 32.1%で最も多く、次いで「仕事と介護の両立が精神的に難しかった(限界だった)」(25.0%)及び「他に介護を分担してくれる家族がいなかった」(25.0%)となっている。

(3) 介護離職しなかった理由について

【問13で「離職しなかった」と回答】

問13-3 離職しなかった理由を選んでください。(最も当てはまる1つだけに☑)

n=201



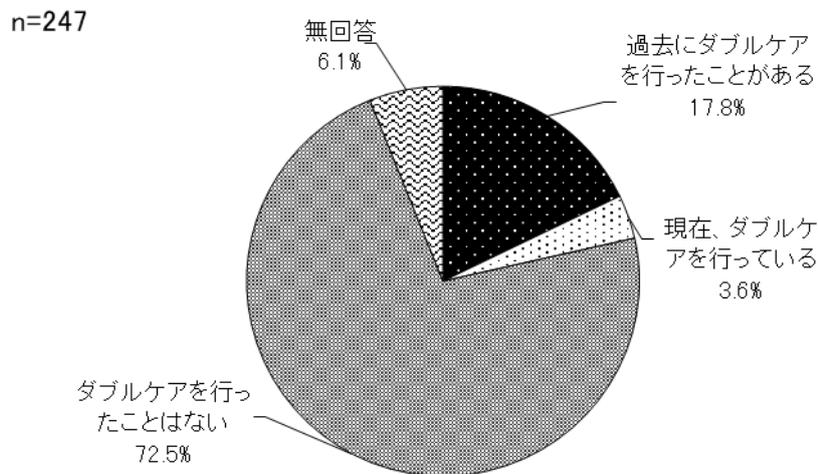
介護離職しなかった理由は、「他の親族が介護を担った」が25.9%で最も多く、次いで「施設入所が決まった」(21.4%)、「介護保険サービスを活用することにより、在宅で対応できた」(19.4%)となっている。

5 介護・育児の同時対応や子どもによる介護・育児について

(1) 介護と育児のダブルケアの経験について

【問9で「ある」と回答】

問14 親族の介護と同時に、子どもの育児のダブルケアを行ったことがありますか。(1つだけに☑)

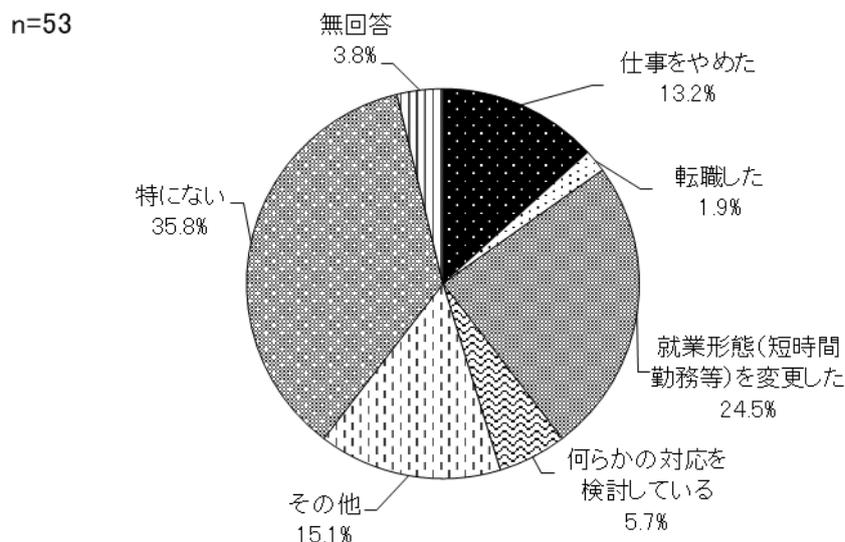


介護と育児のダブルケアの経験は、「過去にダブルケアを行ったことがある」が17.8%、「現在、ダブルケアを行っている」が3.6%、「ダブルケアを行ったことはない」が72.5%となっている。

(2) ダブルケアによる就業への影響

【問14で「過去にダブルケアを行ったことがある」又は「現在、ダブルケアを行っている」と回答】

問14-2 ダブルケアを行ったことがある(行っている)ことによる就業への影響をお聞かせください。(1つだけに☑)



ダブルケアによる就業への影響は、「就業形態(短時間勤務等)を変更した」が24.5%で最も多く、次いで「仕事をやめた」(13.2%)、「何らかの対応を検討している」(5.7%)となっている。

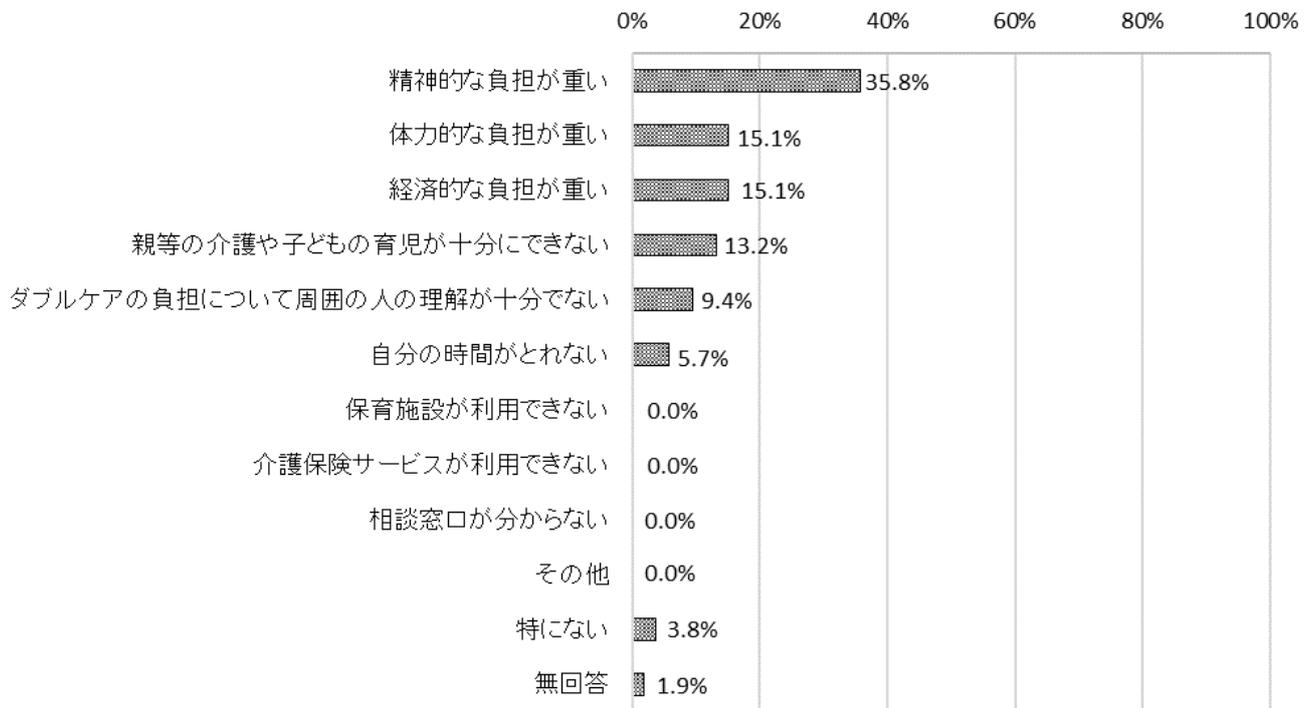
一方、「特にない」は35.8%となっている。

(3) ダブルケアの負担感について

【問 14 で「過去にダブルケアを行ったことがある」又は「現在、ダブルケアを行っている」と回答】

問 14-3 ダブルケアの負担感についてお聞かせください。(最も当てはまる 1 つだけに☑)

n=53



ダブルケアの負担感は、「精神的な負担が重い」が 35.8%で最も多く、次いで「体力的な負担が重い」(15.1%) 及び「経済的な負担が重い」(15.1%)、「親等の介護や子どもの育児が十分にできない」(13.2%) となっている。

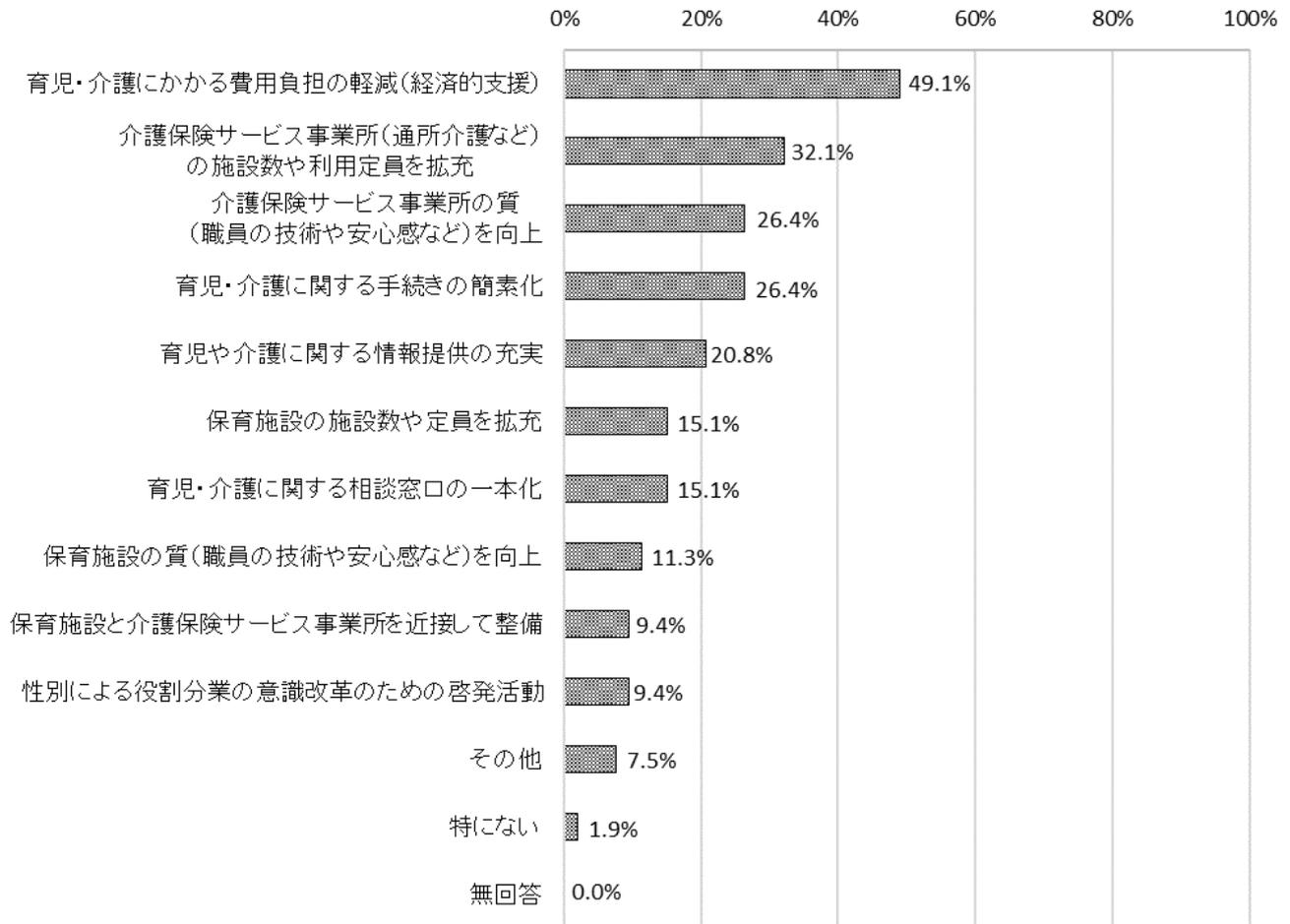
(4) ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策

【問 14 で「過去にダブルケアを行ったことがある」又は「現在、ダブルケアを行っている」と回答】

問 14-4 県・市町村が、ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策についてお聞かせください。

(3つ以内で☑)

n=53



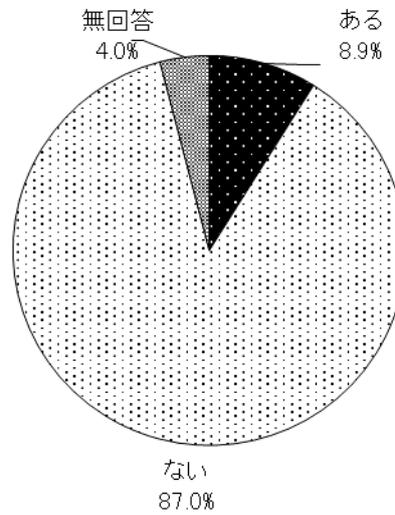
ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策は、「育児・介護にかかる費用負担の軽減(経済的支援)」が49.1%で最も多く、次いで「介護保険サービス事業所(通所介護など)の施設数や利用定員を拡充」(32.1%)、「介護保険サービス事業所の質(職員の技術や安心感など)を向上」(26.4%)及び「育児・介護に関する手続きの簡素化」(26.4%)となっている。

(5) 子どもに介護・育児を手伝ってもらった経験

【問9で「ある」と回答】

問 15 18歳未満の子どもに、高齢者の介護や障害・病気のある親族（祖父母・親・きょうだいなど）の介護・育児を手伝ってもらった経験がありますか。（1つだけに☑）

n=247



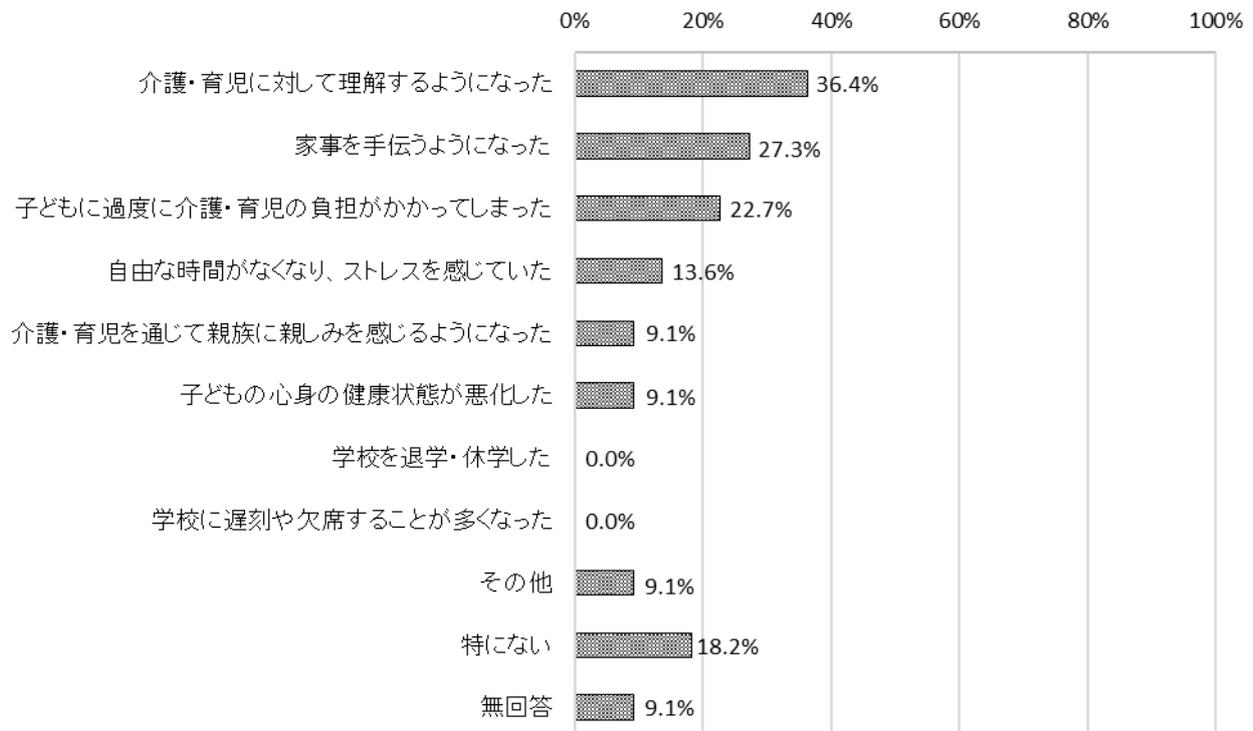
子どもに介護・育児を手伝ってもらった経験は、「ある」が8.9%、「ない」が87.0%となっている。

(6) 子どもの状態の変化について

【問15で「ある」を回答】

問15-2 そのときの子どもの状態に変化はありましたか。(3つ以内で☑)

n=22



介護・育児を手伝ってもらったときの子どもの状態の変化は、「介護・育児に対して理解するようになった」が36.4%で最も多く、次いで「家事を手伝うようになった」(27.3%)、「子どもに過度に介護・育児の負担がかかってしまった」(22.7%)となっている。

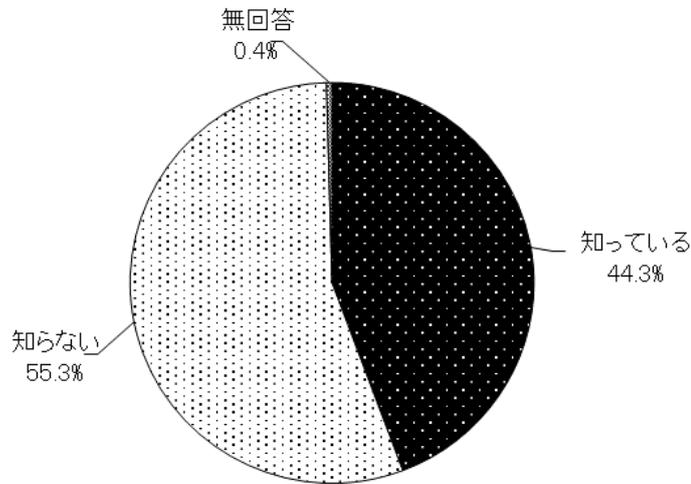
一方で、「特にない」は18.2%となっている。

6 地域包括支援センターについて

(1) 「地域包括支援センター」の認知度

問 16 あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけに☑)

n=684

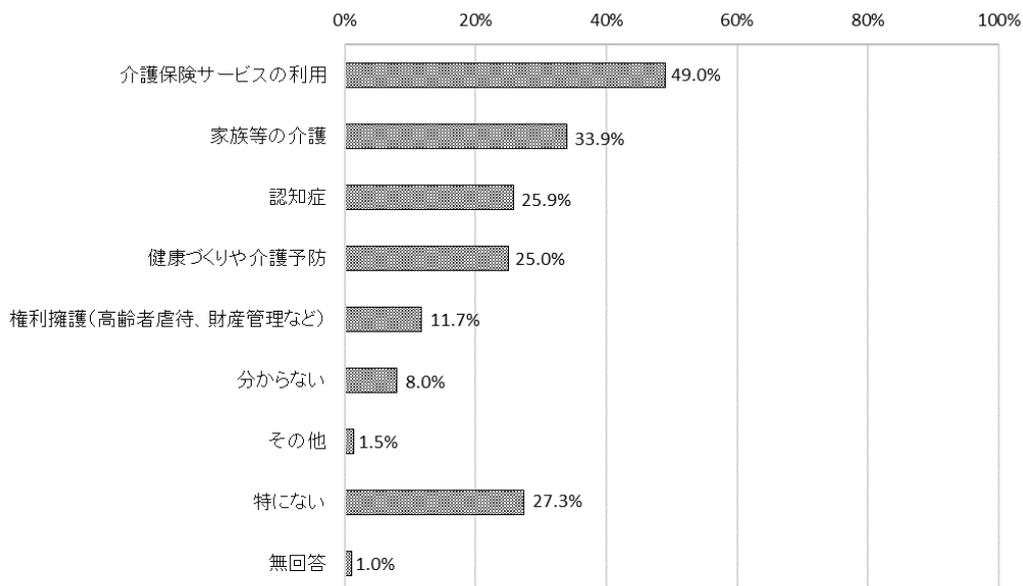


「地域包括支援センター」の認知度は、「知っている」が44.3%、「知らない」が55.3%となっている。

(2) 地域包括支援センターに相談したいことについて

問 17 地域包括支援センターでは、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、様々な相談に応える総合相談支援業務を行っています。あなた自身や家族のことなどで相談してみたいことがあれば、教えてください。(3つ以内で☑)

n=684



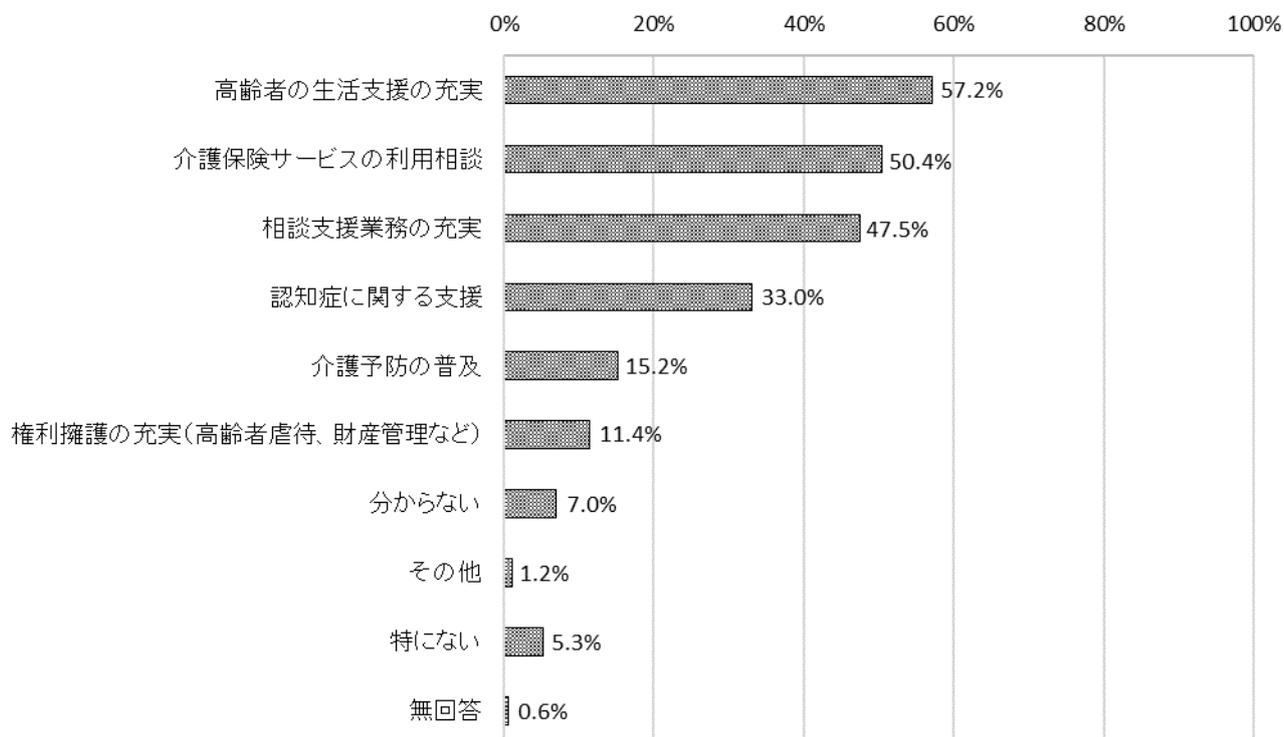
地域包括支援センターに相談したいことは、「介護保険サービスの利用」が49.0%で最も多く、次いで、「家族等の介護」(33.9%)、「認知症」(25.9%)となっている。

一方、「特にない」は27.3%となっている。

(3) 地域包括支援センターに期待すること

問 18 地域包括支援センターにどのようなことを期待しますか。(3つ以内で☑)

n=684



地域包括支援センターの期待することは、「高齢者の生活支援の充実」が 57.2%で最も多く、次いで「介護保険サービスの利用相談」(50.4%)、「相談支援業務の充実」(47.5%)、となっている。

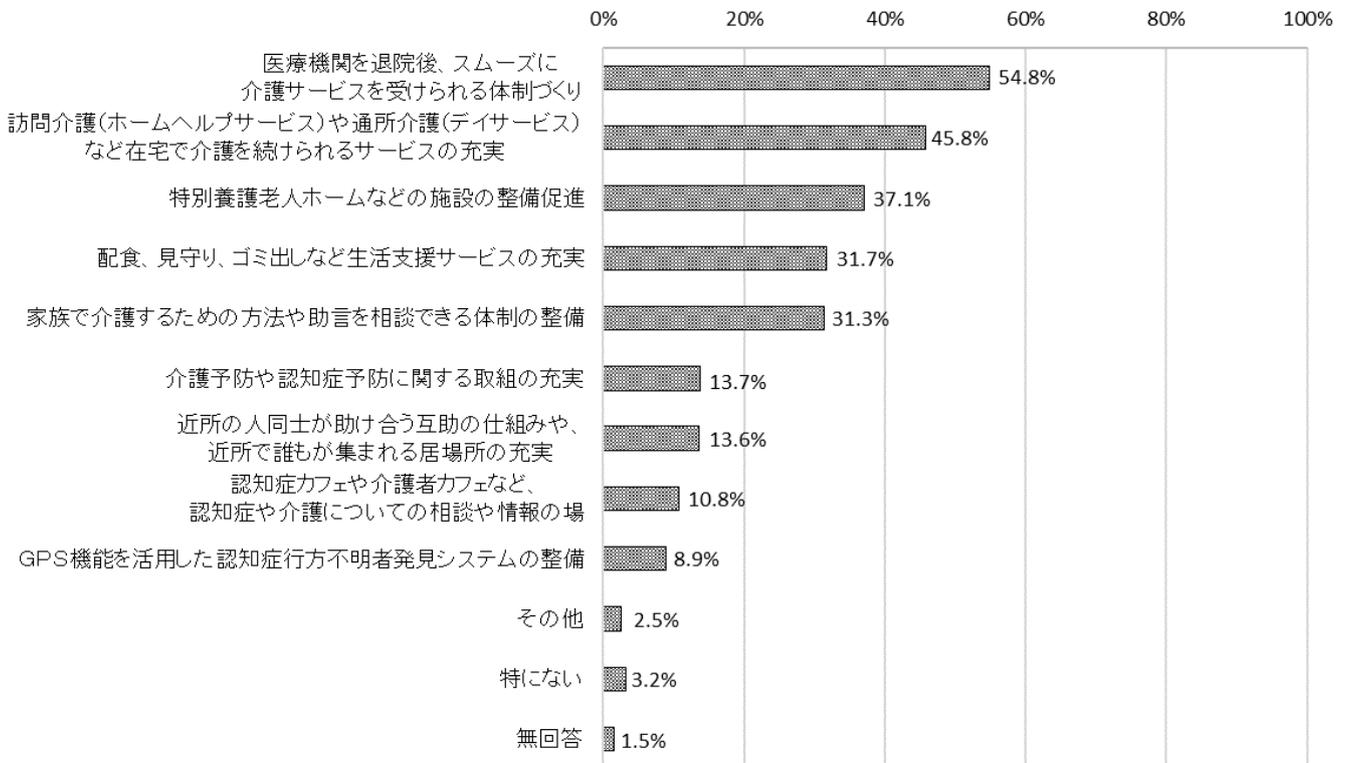
7 その他

(1) 県・市町村が取り組むべき介護への支援

問 19 県や市町村が、介護について取り組むべき支援についてお聞かせください。

(3つ以内で☑)

n=684



県・市町村が取り組むべき介護への支援は、「医療機関を退院後、スムーズに介護サービスを受けられる体制づくり」が 54.8%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）など在宅で介護を続けられるサービスの充実」（45.8%）、「特別養護老人ホームなどの施設の整備促進」（37.1%）となっている。